

平成30年8月31日現在
(平成30年9月13日一部修正)

筑後川水系における平成30年7月豪雨の概要

(最 終 報)

九州地方整備局
筑後川河川事務所

1. 降雨の概要① (概況)

台風第7号の影響で、九州北部に停滞する梅雨前線に向けて南から温かく湿った空気が流入し、福岡県、佐賀県地方の上空では、上時間にわたって大気の状態が非常に不安定となりました。

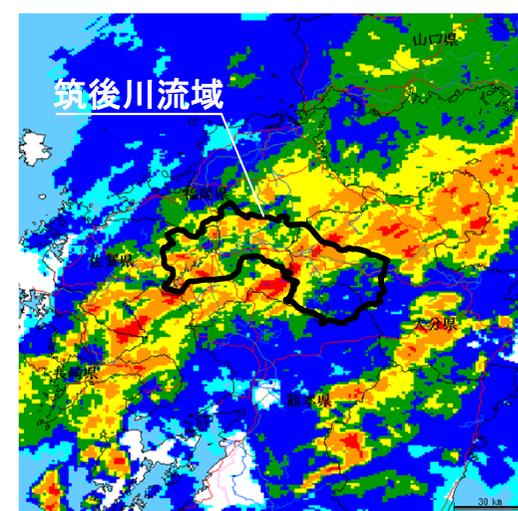
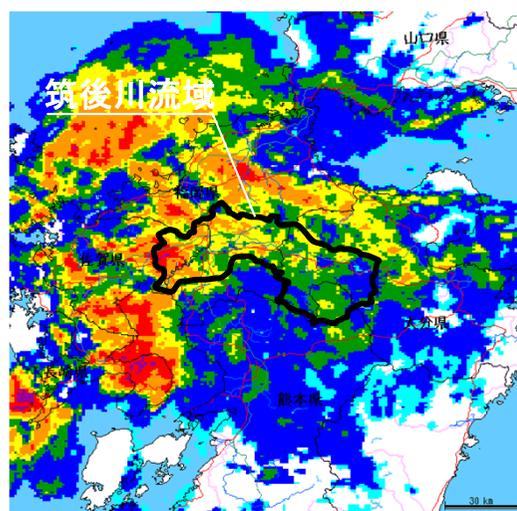
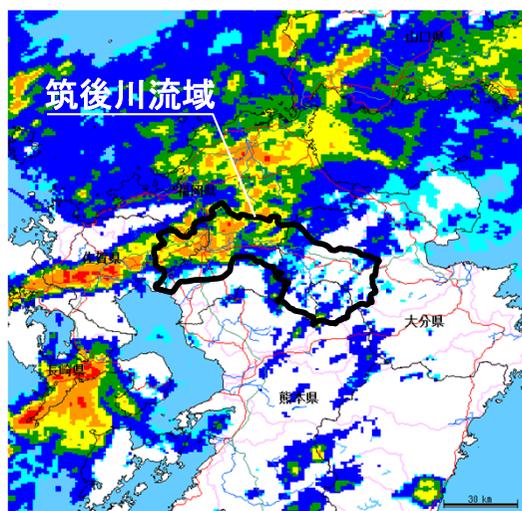
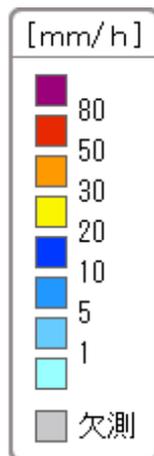
今回の豪雨は、昨年の北部九州豪雨の様な短時間に激しく降るといよりは、長く降り続いては小康状態となり、再びまとまって強く降り出すといった状況で、およそ1日半程かけて降り続いた長雨となりました。

平成24年7月北部九州豪雨と比べると、久留米雨量観測所の累加雨量は、約1.3倍近くの407mmでした。

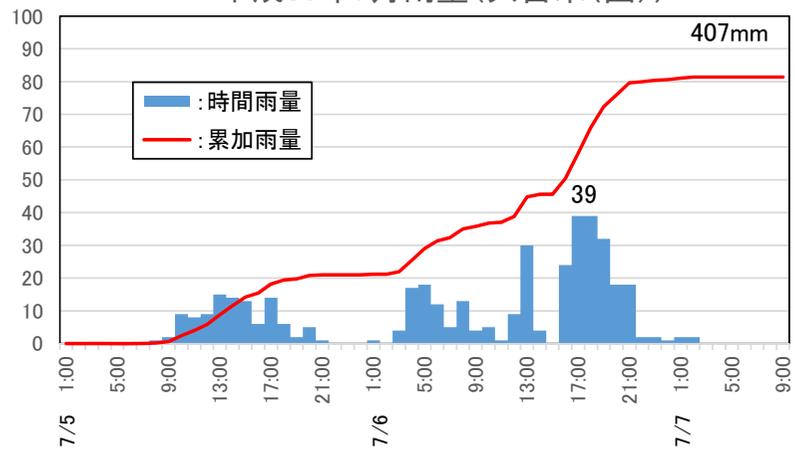
7月5日12時

7月6日3時

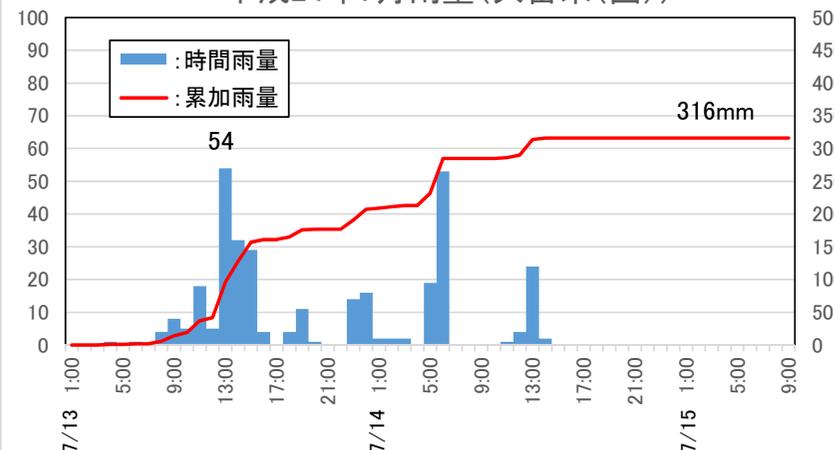
7月6日18時



平成30年7月雨量(久留米(国))



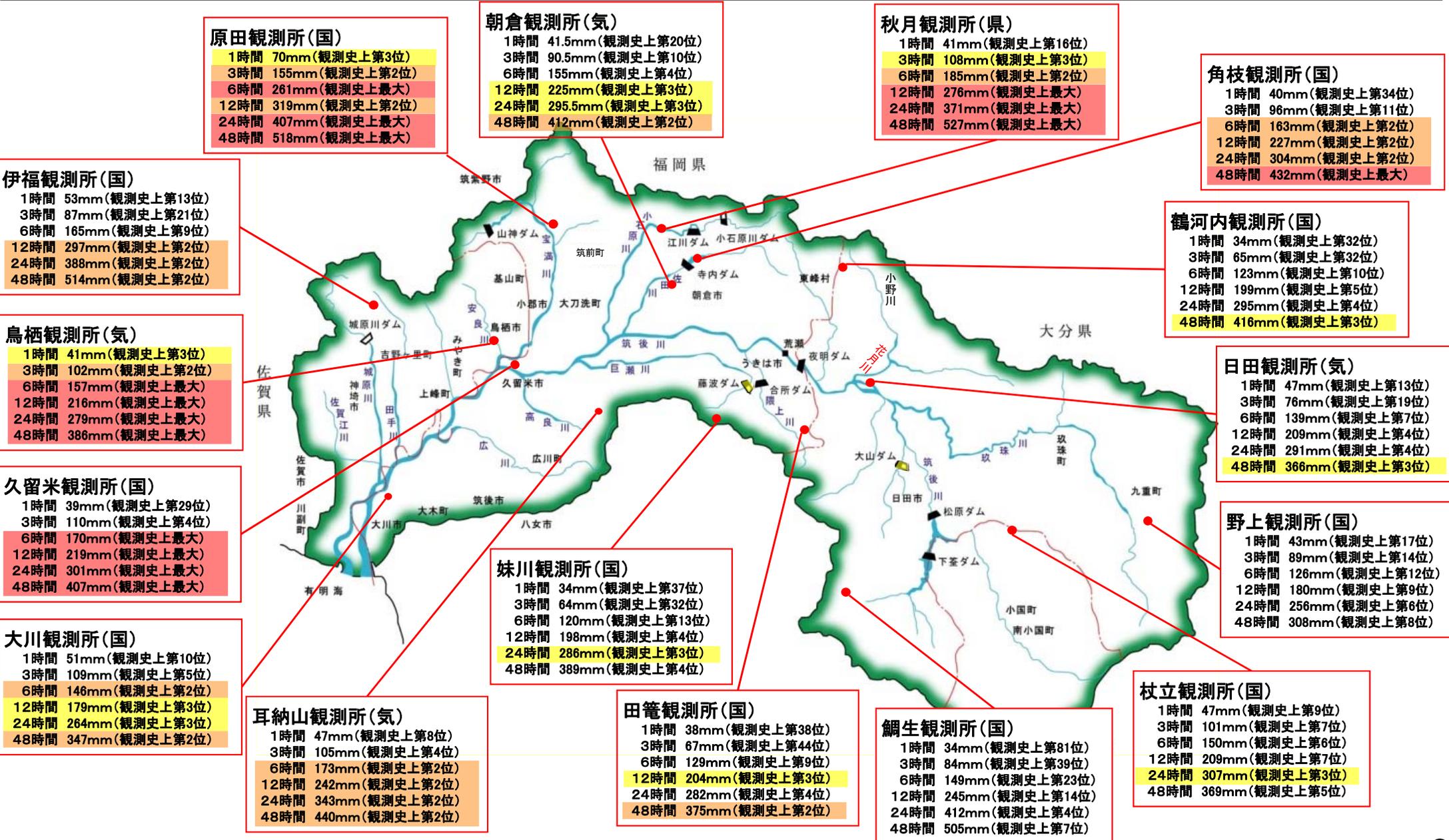
平成24年7月雨量(久留米(国))



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

1. 降雨の概要② (降雨強度)

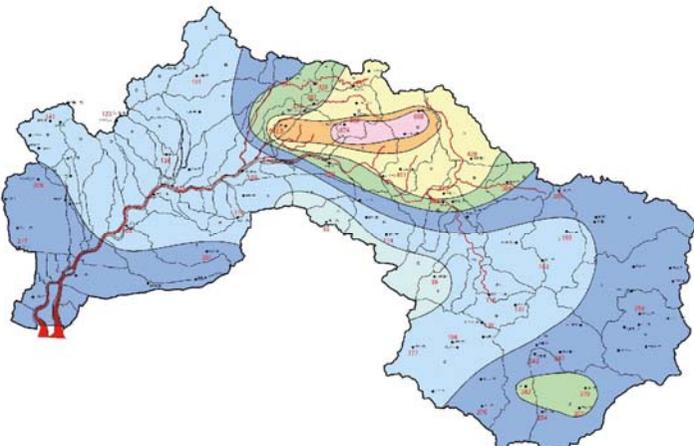
平成30年7月5日梅雨前線豪雨により、久留米市から鳥栖市、朝倉市にある観測所では、6時間～48時間雨量(中～長時間雨量)で観測史上最大の降雨強度を記録しました。



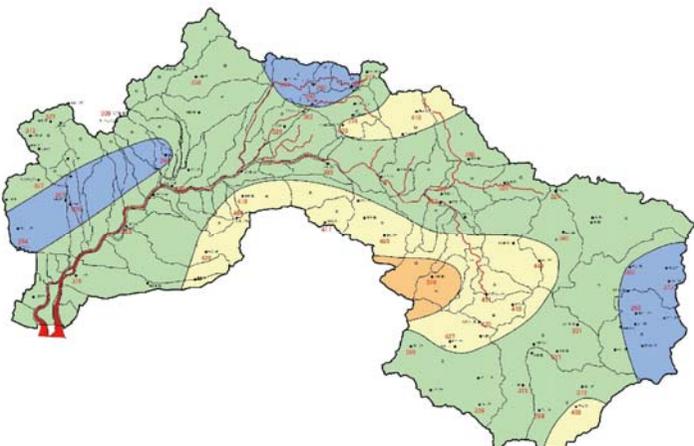
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

1. 降雨の概要③ (降雨分布)

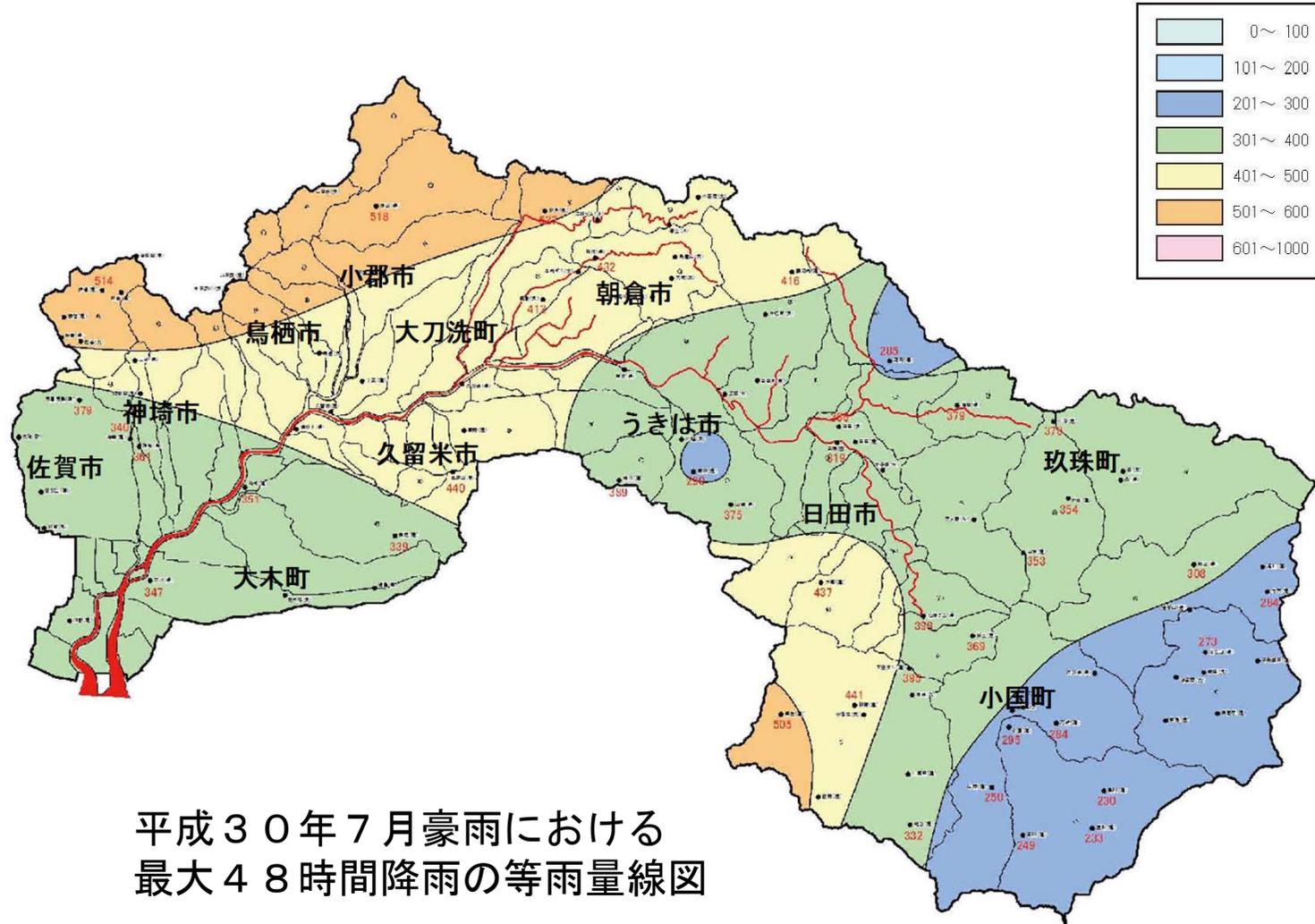
下図は、7月5日から7月7日における、流域内の各雨量観測所の最大48時間降雨を基に作成した等雨量線図です。200mm以上の雨が広範囲に流域全体に降ったほか、特に久留米市、鳥栖市、小郡市、大刀洗町、朝倉市のある下流～中流域では400mm～500mmを越える大雨となり、河川水位の上昇や浸水被害の要因となりました。



平成29年九州北部豪雨における最大48時間降雨の等雨量線図



平成24年九州北部豪雨における最大48時間降雨の等雨量線図



平成30年7月豪雨における最大48時間降雨の等雨量線図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

1. 降雨の概要④（筑後川河川事務所管内の雨量）

主な雨量観測所の最大雨量（速報値）

水系名	河川名	観測所名	位置	総雨量(mm)			最大時間雨量(mm)				
筑後川	筑後川	大川	福岡県大川市向島	350	7月5日 8時00分	～	7月7日 3時00分	51	7月6日 17時00分	～	7月6日 18時00分
筑後川	田手川	伊福	神崎市背振町服巻	514	7月5日 6時00分	～	7月6日 23時00分	53	7月6日 13時00分	～	7月6日 14時00分
筑後川	轟木川	鳥栖	佐賀県鳥栖市元町横田	411	7月5日 8時00分	～	7月7日 2時00分	41	7月6日 16時00分	～	7月6日 17時00分
筑後川	筑後川	久留米	福岡県久留米市高野	407	7月5日 8時00分	～	7月7日 2時00分	39	7月6日 16時00分	～	7月6日 17時00分
筑後川	—	耳納山(気)	福岡県久留米市草野町字吉木	440	7月5日 6時00分	～	7月7日 3時00分	47	7月6日 19時00分	～	7月6日 20時00分
筑後川	小石原川	秋月	福岡県朝倉市下秋月石原	528	7月5日 8時00分	～	7月7日 14時00分	41	7月6日 14時00分	～	7月6日 15時00分
筑後川	—	朝倉	福岡県朝倉市三奈木町	422	7月5日 7時00分	～	7月7日 3時00分	42	7月6日 17時00分	～	7月6日 18時00分
筑後川	宝満川	原田	筑紫野市下見	518	7月5日 9時00分	～	7月6日 23時00分	70	7月6日 16時00分	～	7月6日 17時00分
筑後川	佐田川	角枝	朝倉市三奈木町矢野作	460	7月5日 8時00分	～	7月7日 3時00分	40	7月6日 17時00分	～	7月6日 18時00分
筑後川	巨瀬川	妹川	うきは市浮羽町妹川	389	7月5日 7時00分	～	7月7日 4時00分	34	7月6日 0時00分	～	7月7日 1時00分
筑後川	隈ノ上川	田籠	うきは市浮羽町小塩	375	7月5日 6時00分	～	7月7日 5時00分	38	7月6日 18時00分	～	7月6日 19時00分
筑後川	花月川	鶴河内	日田市大字鶴河内	416	7月5日 7時00分	～	7月7日 3時00分	34	7月6日 20時00分	～	7月6日 21時00分
筑後川	筑後川	鯛生	日田市中津江村合瀬生子川	505	7月5日 6時00分	～	7月7日 5時00分	34	7月6日 22時00分	～	7月6日 23時00分
筑後川	—	日田(気)	大分県日田市三本松	366	7月5日 7時00分	～	7月7日 4時00分	47	7月6日 22時00分	～	7月6日 23時00分
筑後川	筑後川	杖立	熊本県阿蘇郡小国町大字下城字湯鶴	369	7月5日 6時00分	～	7月7日 5時00分	47	7月7日 1時00分	～	7月7日 2時00分
筑後川	野上川	野上	大分県玖珠郡九重町野上	308	7月5日 7時00分	～	7月7日 5時00分	43	7月7日 1時00分	～	7月7日 2時00分

2. 河川水位の概要①

平成30年7月5日梅雨前線豪雨により、河川水位が上昇し、筑後川小渚、荒瀬、片ノ瀬、杖立、宝満川端間、小石原川栄田橋水位観測所では「氾濫危険水位」、巨瀬川中央橋水位観測所は「計画高水位」を越えました。特に、筑後川小渚、宝満川端間、巨瀬川中央橋、小石原川栄田橋、佐田川金丸橋水位観測所では観測史上最高水位を記録しました。

筑後川河川事務所管内における河川水位（速報値）

（値は速報値です）

水系名	河川名	観測所名	位置 (河口又は合流点からの距離:km)		今回最高水位			水防団 待機水位 (m)	氾濫 注意水位 (m)	避難判断 水位 (m)	氾濫 危険水位 (m)	計 画 高水位 (m)	既往最高水位	
					日	時	水位(m)						水位(m)	年月日
筑後川	筑後川	小渚	日田市小渚町	(76.59)	7/7	3:50	4.61	2.20	3.00	4.00	4.50	5.55	4.61	H30.7.7
	筑後川	荒瀬	うきは市浮羽町三春	(62.08)	7/7	4:20	6.9	3.40	5.00	5.90	6.30	10.43	7.41	H24.7.14
	筑後川	片ノ瀬	久留米市田主丸町菅原	(40.61)	7/7	5:40	9.67	5.40	6.70	7.80	8.50	12.82	10.36	H29.7.5
	筑後川	瀬ノ下	久留米市瀬下町浜町上	(25.48)	7/7	5:00	6.26	3.50	5.00	6.80	7.10	8.78	9.02	S28.6.28
	筑後川	杖立	小国町下城	(99.80)	7/7	2:40	7.33	4.50	5.00	5.30	6.00	-	8.50	H17.7.10
	城原川	日出来橋	神埼市神埼町竹	(7.97)	7/6	18:10	4.31	2.00	2.50	3.50	4.32	4.51	4.92	H21.7.26
	田手川	田手橋	吉野ヶ里町田手	(10.00)	7/6	17:40	1.73	1.50	1.80	2.90	3.52	-	3.36	S47.7.12
	宝満川	端間	小郡市端間	(7.93)	7/6	19:10	5.47	2.40	3.60	4.00	4.65	6.05	5.47	H30.7.6
	巨瀬川	中央橋	久留米市田主丸港	(9.98)	7/6	20:50	3.14	1.20	1.90	2.20	2.54	3.11	3.14	H30.7.6
	小石原川	栄田橋	大刀洗町栄田	(3.24)	7/6	19:00	4.4	2.00	2.50	3.10	3.71	5.09	4.40	H30.7.6
	佐田川	金丸橋	朝倉市金丸	(2.39)	7/6	18:50	3.56	1.50	2.50	3.50	3.87	4.38	3.56	H30.7.6
	花月川	花月	日田市丸山町	(3.38)	7/6	23:30	1.73	0.90	1.60	2.20	3.35	4.48	4.50	H29.7.5
	隈ノ上川	西隈ノ上	うきは市浮羽町西隈ノ上	(0.75)	7/7	1:50	2.57	1.40	2.00	2.40	2.88	3.06	3.72	S44.7.1

◎水位危険度レベル

水防団待機水位	レベル1	水防団が水防活動を行うために待機する水位です。
氾濫注意水位	レベル2	避難行動の準備を行う目安となる水位です。
避難判断水位	レベル3	避難行動を行う目安となる水位です。
氾濫危険水位	レベル4	氾濫危険水位を越えると、氾濫の恐れがあります。
氾濫の発生	レベル5	堤防の決壊などにより、氾濫した時点でレベル5となります。

計画高水位を超過：1箇所
 氾濫危険水位を超過：6箇所
 避難判断水位を超過：3箇所
 氾濫注意水位を超過：2箇所

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要②

平成30年7月5日梅雨前線豪雨により、観測史上記録的な水位となった、小湊(日田市)、荒瀬(うきは市)、片ノ瀬(久留米市)端間(小郡市)、中央橋(久留米市)、栄田橋(大刀洗町)、金丸橋(朝倉市)の位置を下図のとおり示します。

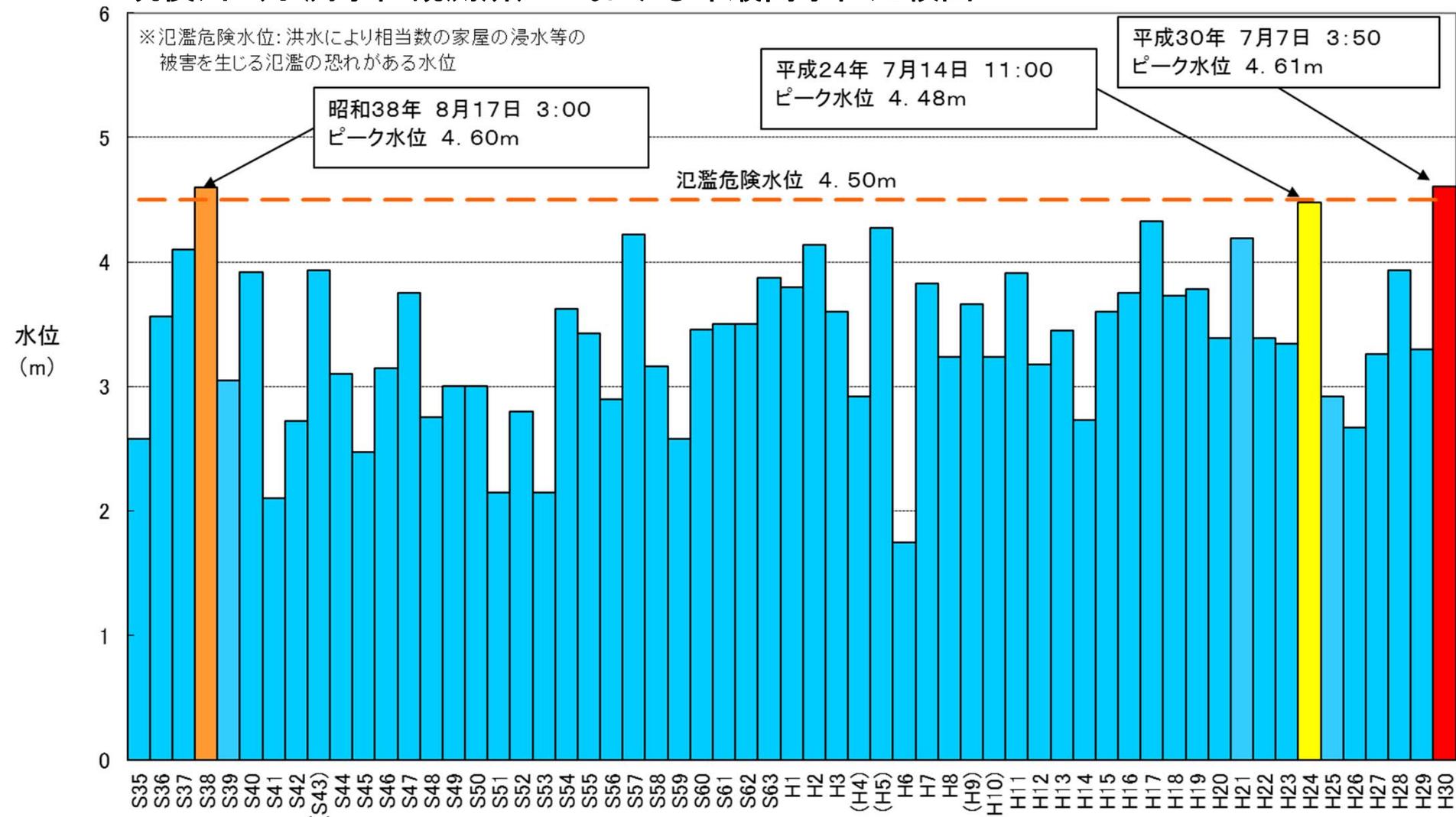


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要③ 筑後川（小湊水位観測所）

筑後川（小湊（こぶち）水位観測所）において、7月7日3時50分に観測史上最高水位（4.61m）を記録しました。

筑後川（小湊水位観測所）における年最高水位比較図



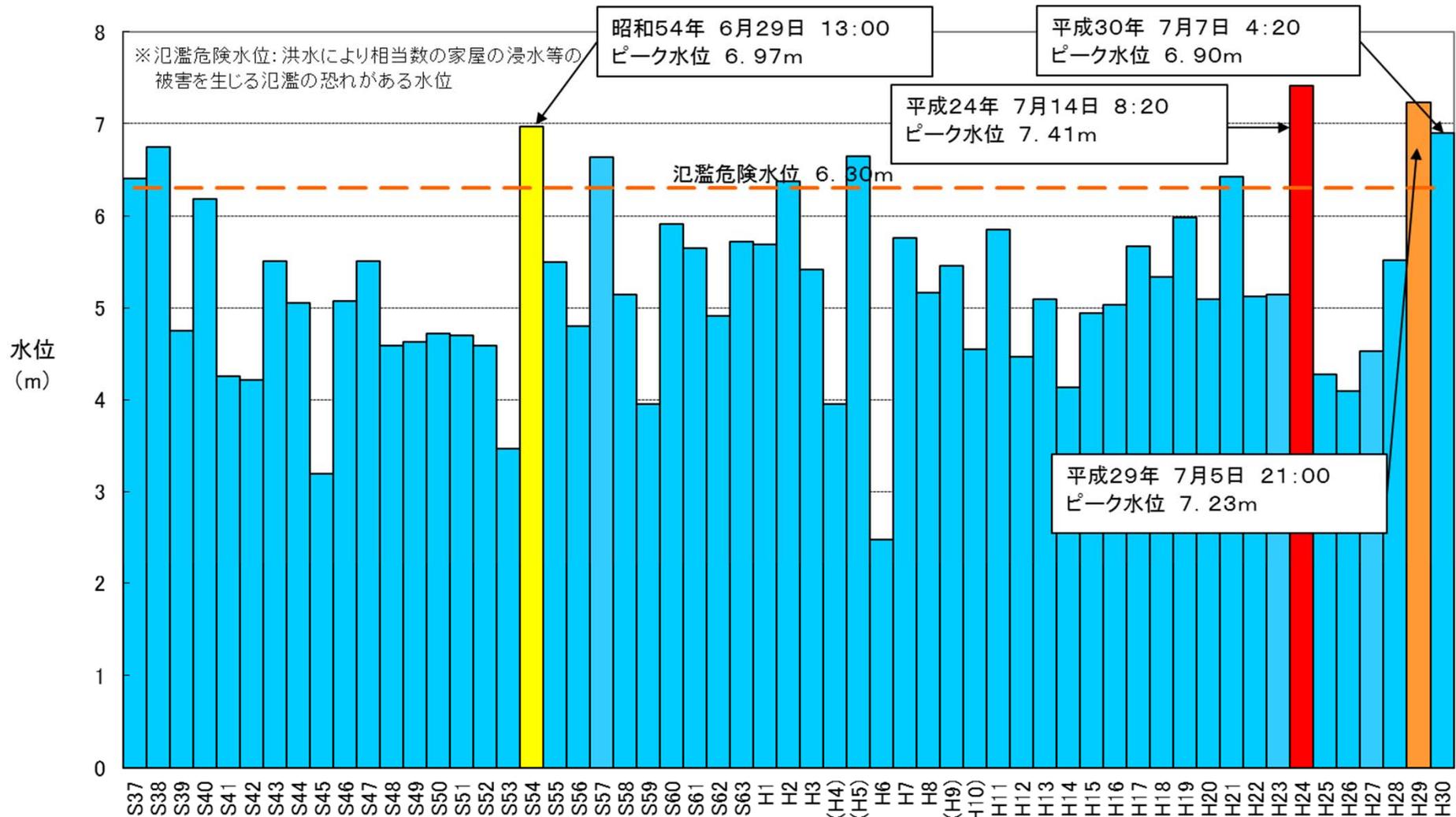
※年次の（ ）書き: 欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。
 ※小湊水位観測所 所在地: 筑後川76.59km地点（大分県日田市若宮町） 零点高: T. P. 85.04m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要④ 筑後川（荒瀬水位観測所）

筑後川（荒瀬(あらせ)水位観測所)において、7月7日4時20分に観測史上第4位水位(6.90m)を記録しました。

筑後川（荒瀬水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の () 書き: 欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

※荒瀬水位観測所 所在地: 筑後川62.08km地点 (うきは市浮羽町大字三春字西川) 零点高: T. P. 37.75m

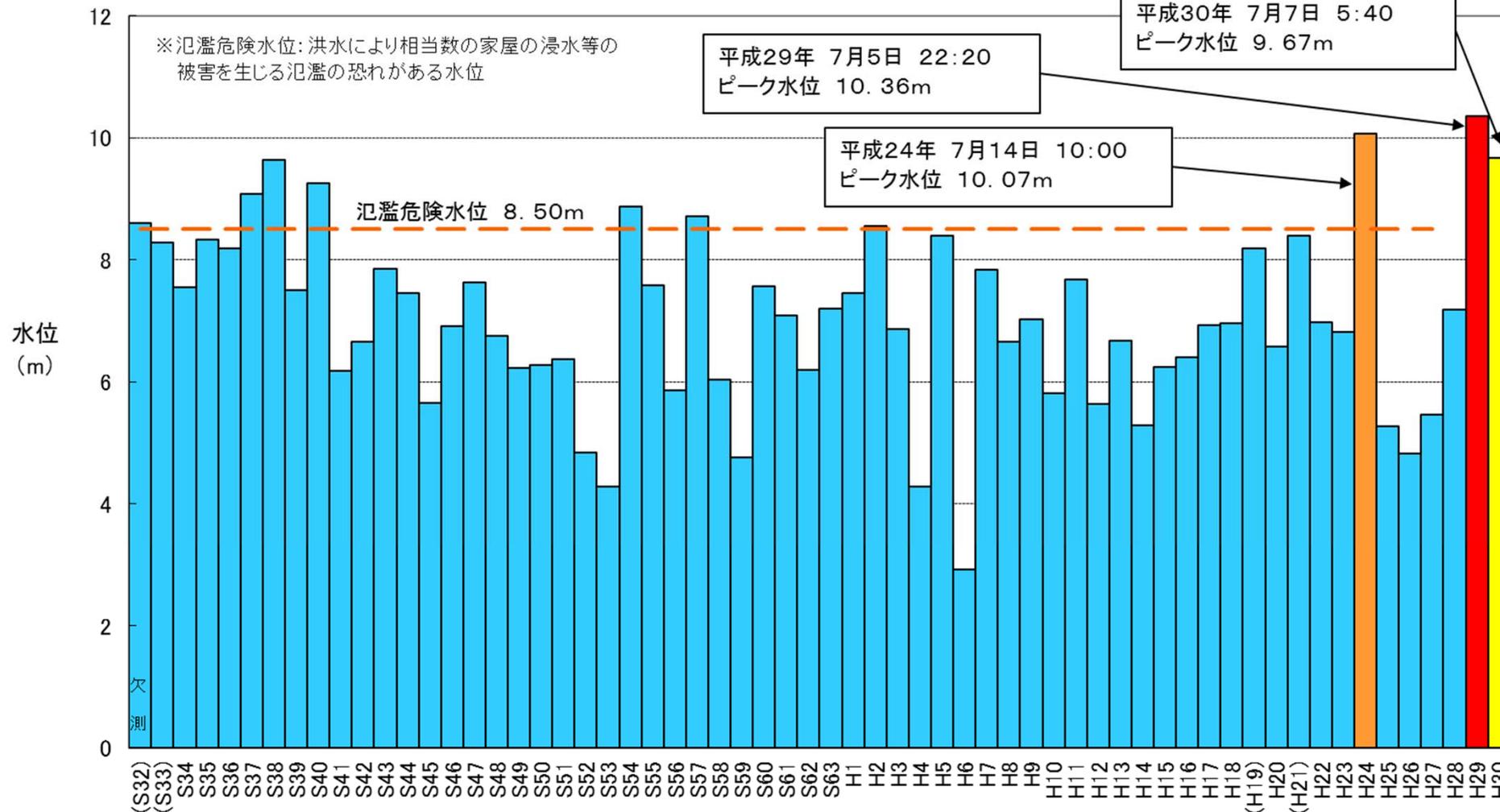
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑤ 筑後川（片ノ瀬水位観測所）

筑後川（片ノ瀬（かたのせ）水位観測所）において、7月7日5時40分に観測史上第3位水位（☆）（9.67m）を記録しました。

（☆昭和31年から観測開始しており、戦後最大の被害があった昭和28年の西日本大水害では未観測）

筑後川（片ノ瀬水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の（ ）書き：欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

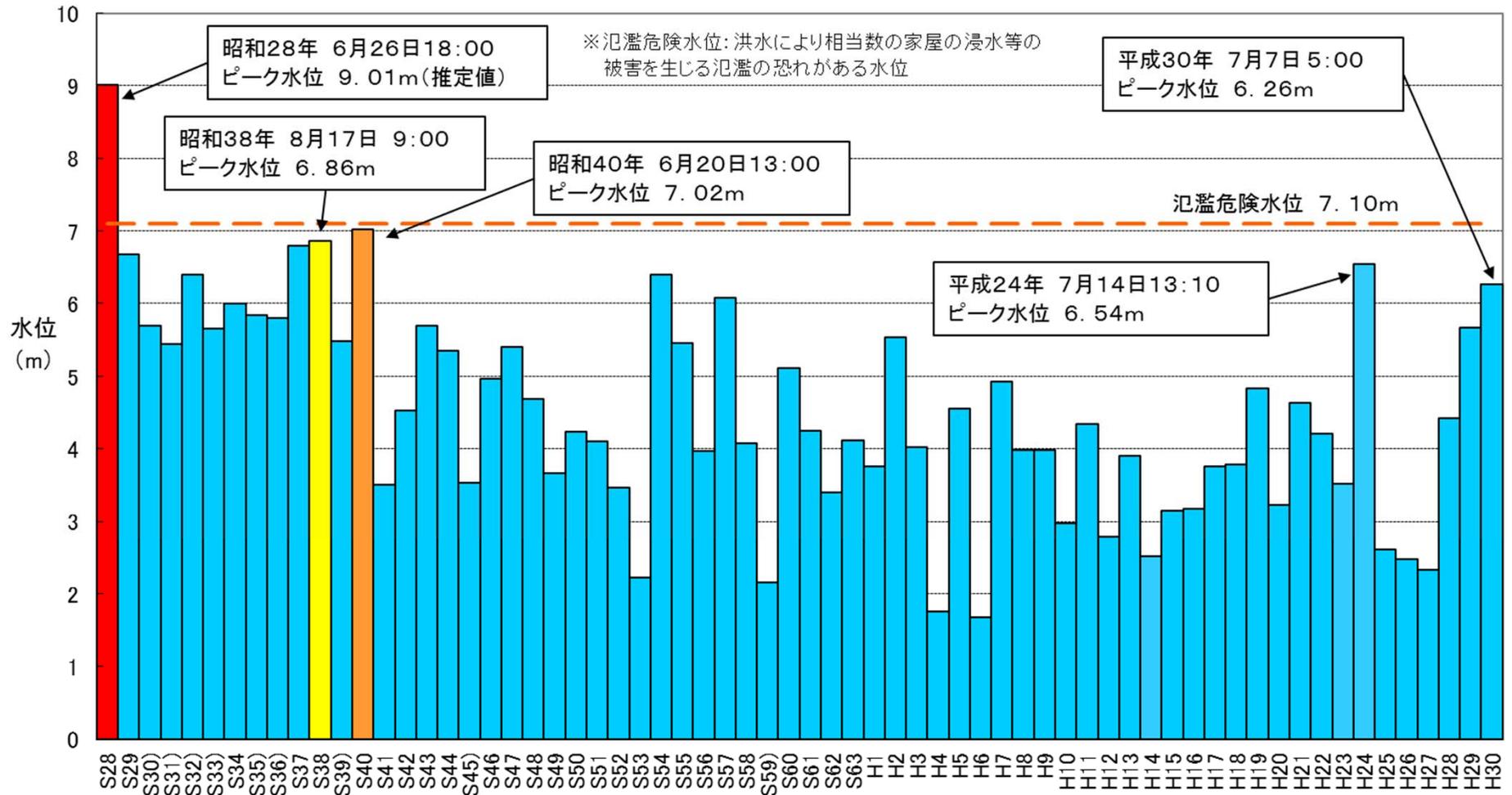
※片ノ瀬水位観測所 所在地：筑後川40.61km地点（福岡県久留米市田主丸町菅原） 零点高：T.P. 4.950m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑥ 筑後川（瀬ノ下水位観測所）

筑後川（瀬ノ下(せのした)水位観測所)において、7月7日5時00分に最高水位6.26mを記録しました。

筑後川（瀬ノ下水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の()書き: 欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

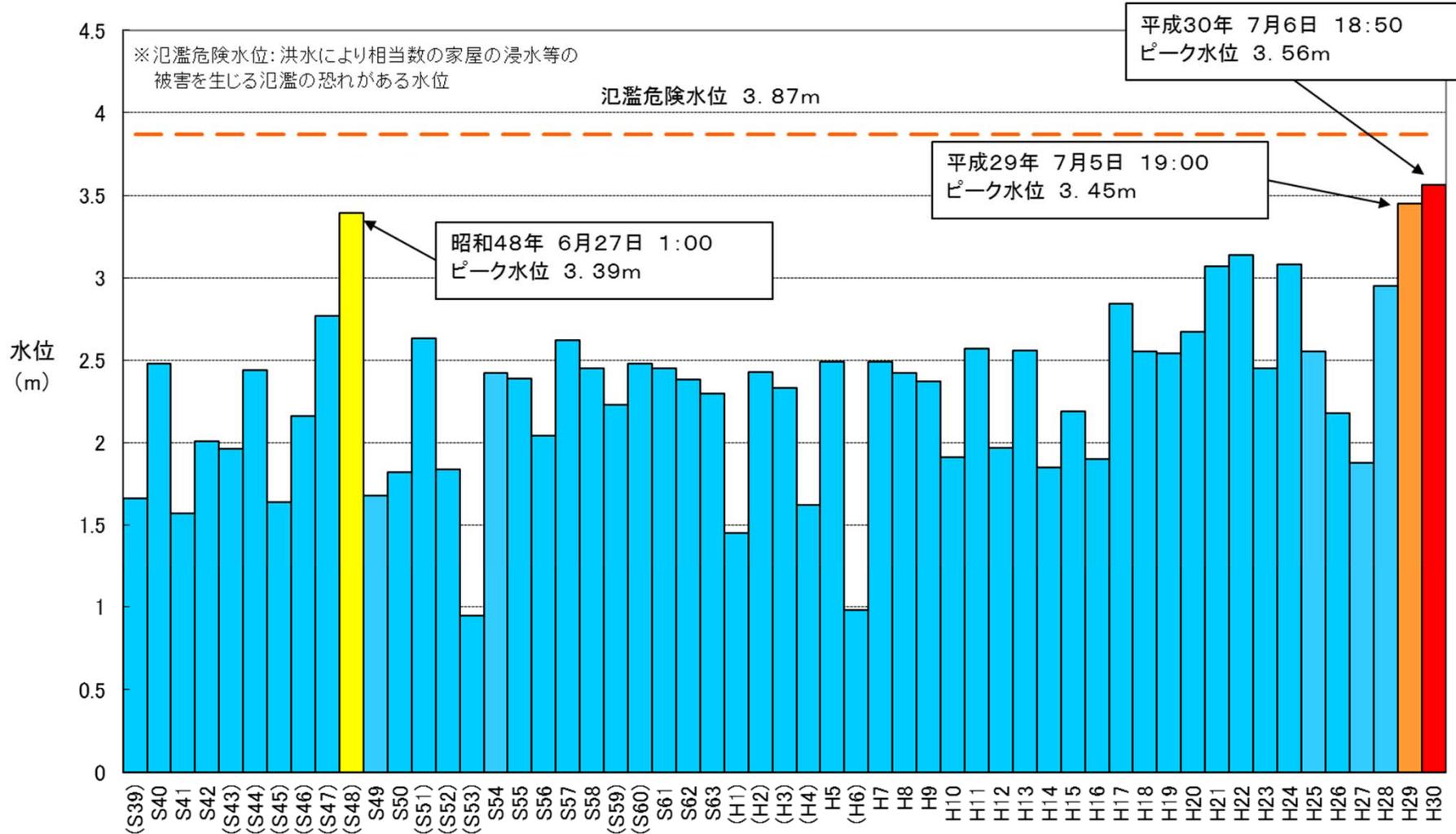
※瀬ノ下水位観測所 所在地: 筑後川25.48km地点 (福岡県久留米市瀬ノ下町浜町上) 零点高: T.P. 1.81m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑦ 支川佐田川（金丸橋水位観測所）

支川佐田川（金丸橋(かなまるばし)水位観測所)において、7月6日18時50分に観測史上最高水位（3.56m）を記録しました。

支川佐田川（金丸橋水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の（ ）書き：欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

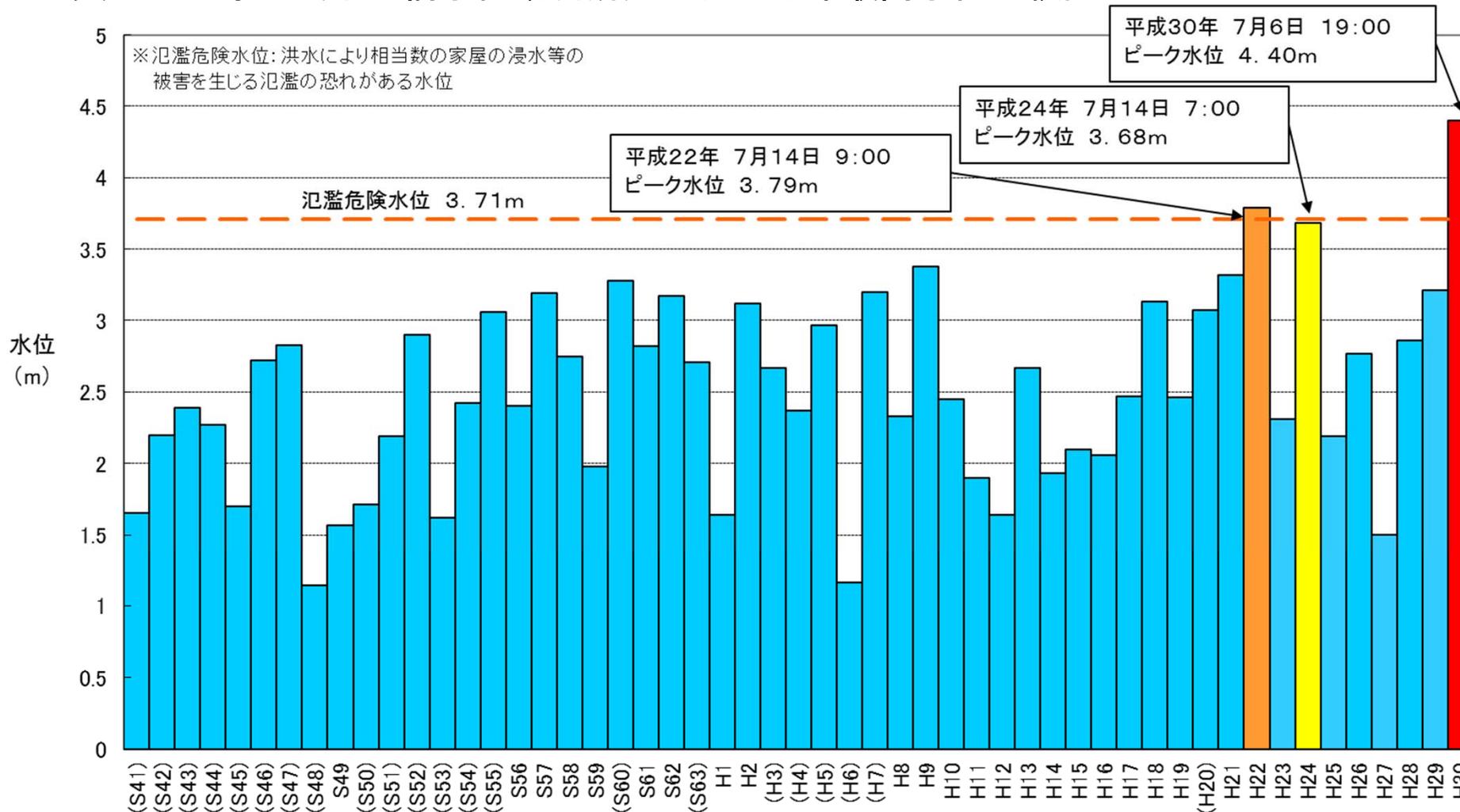
※金丸橋水位観測所 所在地：佐田川2.35km地点（朝倉市金丸） 零点高：T. P. 15.49m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑧ 支川小石原川（栄田橋水位観測所）

支川小石原川（栄田橋(さかえだばし)水位観測所)において、7月6日19時00分に観測史上最高水位（4.40m）を記録しました。

支川小石原川（栄田橋水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の（ ）書き：欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

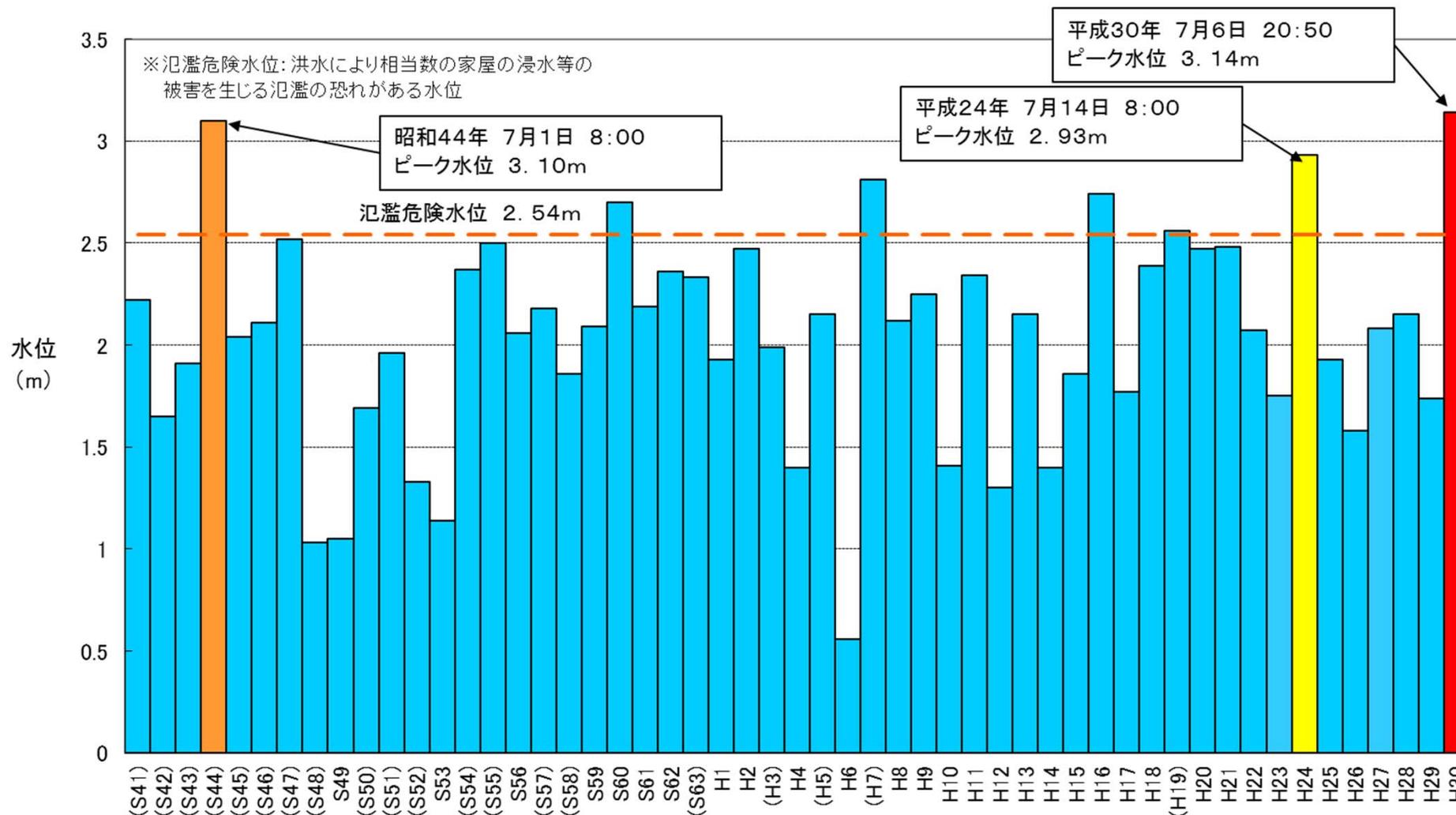
※栄田橋水位観測所 所在地：小石原川3.24km地点（福岡県三井郡大刀洗町栄田） 零点高：T.P. 13.29m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑨ 支川巨瀬川（中央橋水位観測所）

支川巨瀬川（中央橋(ちゅうおうばし)水位観測所)において、7月6日20時50分に観測史上最高水位(3.14m)を記録しました。

支川巨瀬川（中央橋水位観測所）における年最高水位比較図



※年次の()書き: 欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

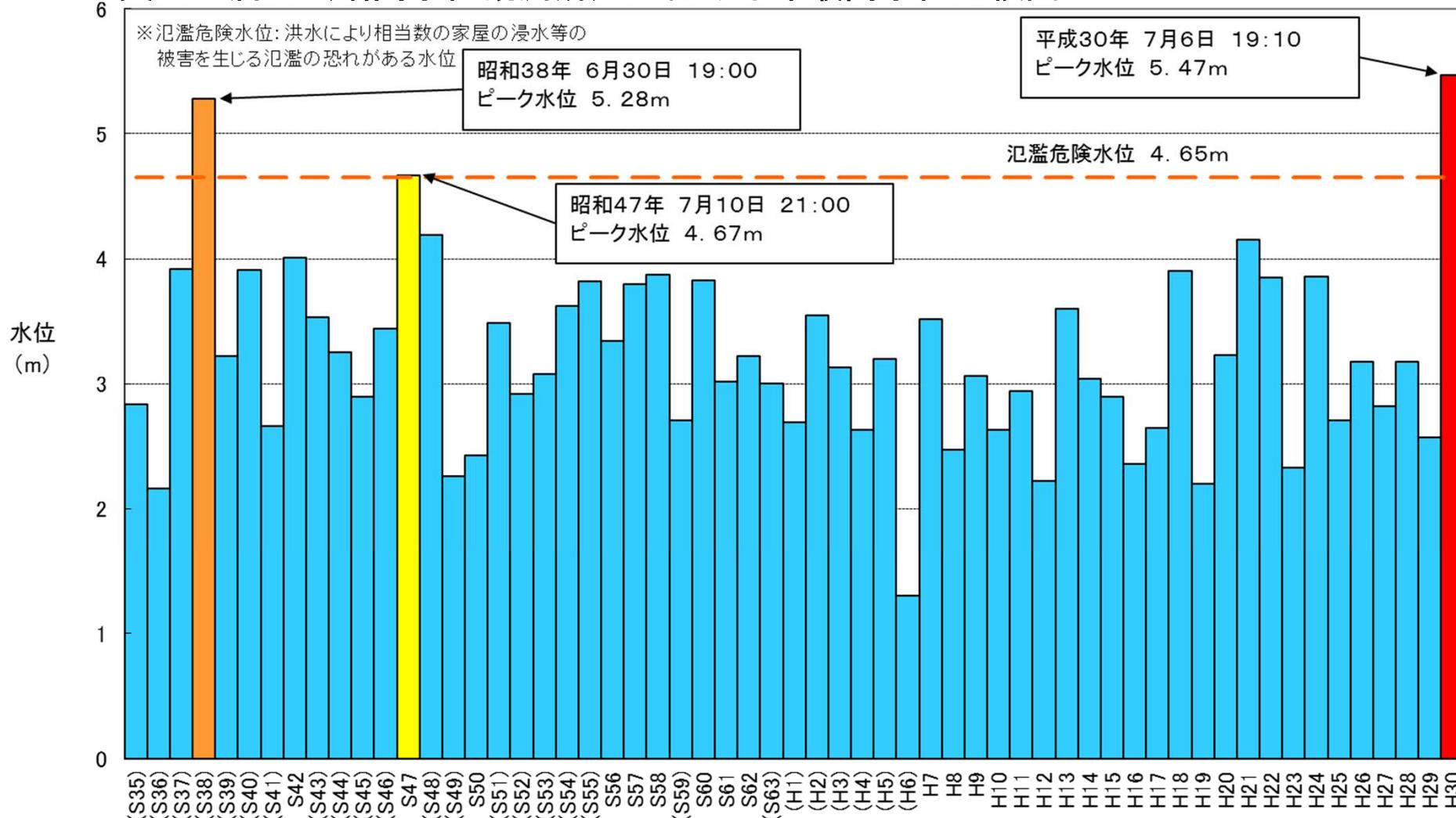
※中央橋水位観測所 所在地: 巨瀬川9.98km地点(久留米市田主丸町田主丸) 零点高: T. P. 15.19m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑩ 支川宝満川（端間水位観測所）

支川宝満川（端間（はたま）水位観測所）において、7月6日19時10分に観測史上最高水位（5.47m）を記録しました。

支川宝満川（端間水位観測所）における年最高水位比較図



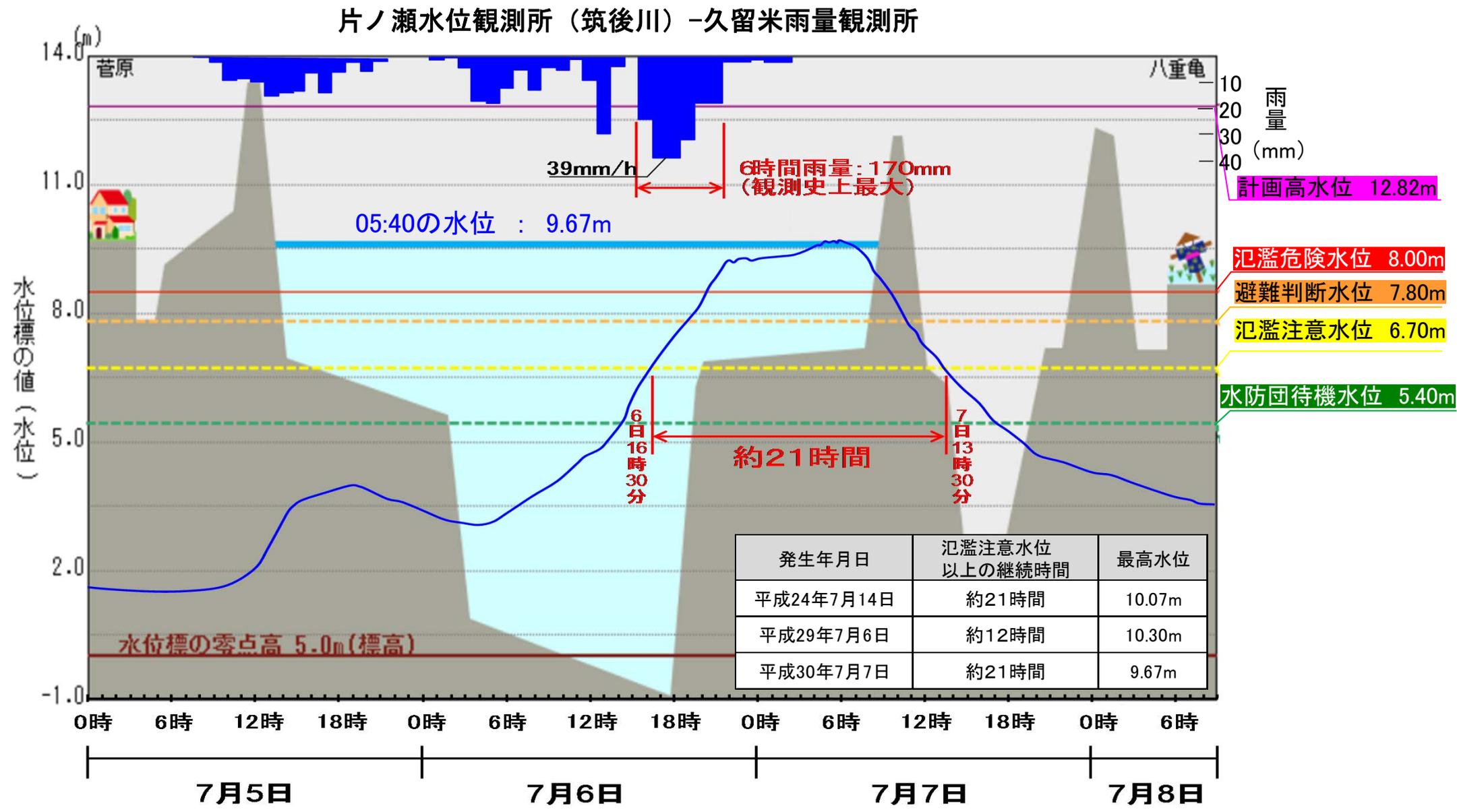
※年次の（ ）書き：欠測期間が有り統計処理上「欠測」扱いであるが、観測記録されているデータのうち最高水位を記載。

※端間水位観測所 所在地：宝満川7.93km地点（福岡県小郡市福童） 零点高：T. P. 6.76m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 河川水位の概要⑪ (筑後川中流の河川水位と降雨)

久留米市内の片ノ瀬水位観測所では、氾濫注意水位を超えた時間が約21時間となり、平成24年7月以降としては、高い水位が最も長時間に及んだ洪水でした。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況① (筑後川水系)

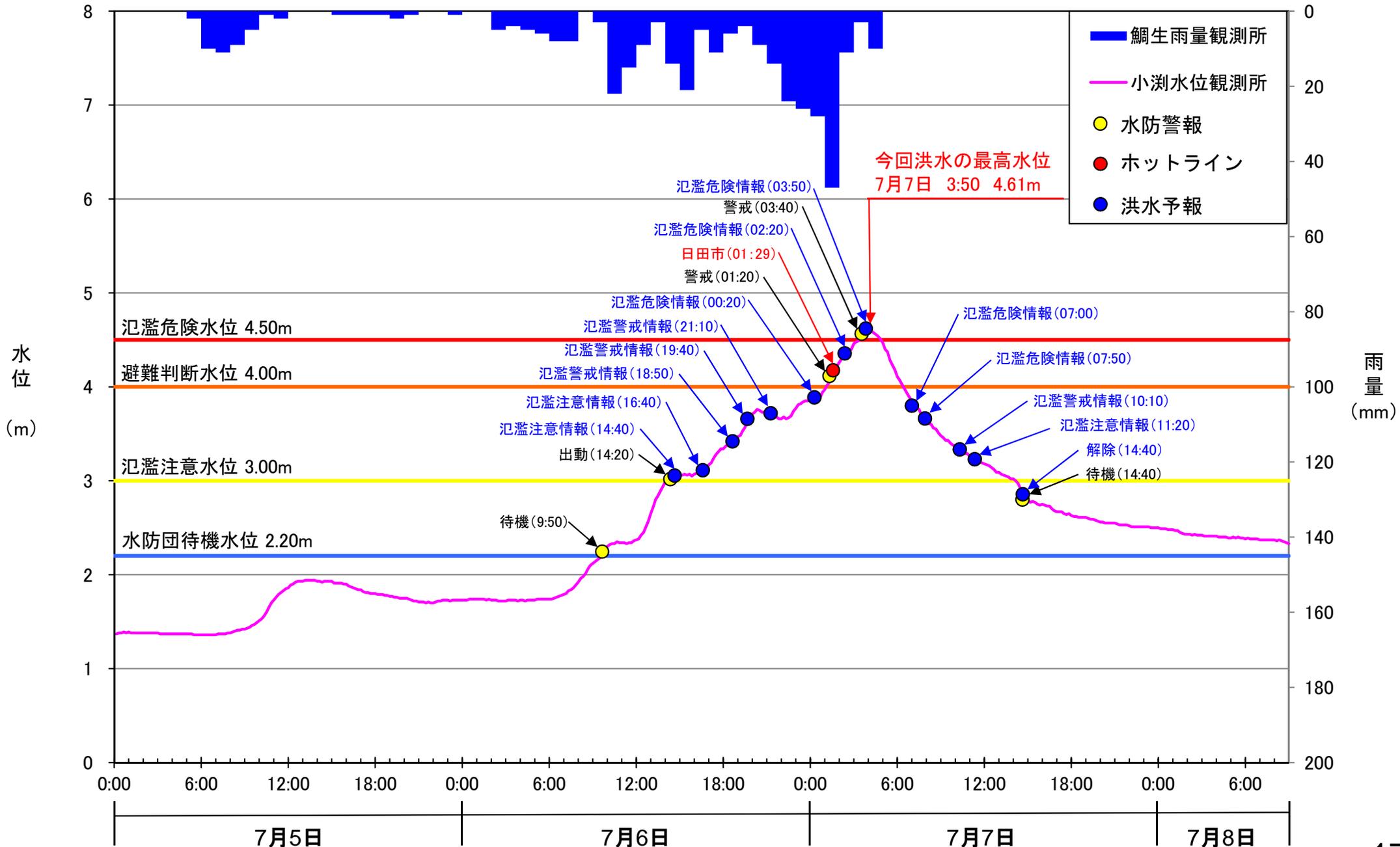
筑後川水系において、洪水予報・水位周知情報43回、水防警報73回、ホットライン29回を実施しました。

単位:回

河川名	観測所名	位置 (河口又は合流点からの距離:km)		洪水予報・水位周知				水防警報				ホットライン
				氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	解除	待機	出動	警戒	解除	
筑後川	小淵	日田市小淵町	(76.59)					2	1	2	1	1
筑後川	荒瀬	うきは市浮羽町三春	(62.08)	3	3	6	1	2	1	2	1	4
筑後川	片ノ瀬	久留米市田主丸町菅原	(40.61)					2	1	2	1	5
筑後川	瀬ノ下	久留米市瀬下町浜町上	(25.48)	1	—	—	1	2	1	—	1	—
筑後川	杖立	小国町下城	(99.80)	1	1	1	1	2	1	2	1	1
城原川	日出来橋	神崎市神崎町竹	(7.97)	1	1	—	1	2	1	1	1	4
田手川	田手橋	吉野ヶ里町田手	(10.00)	—	—	—	—	1	—	—	1	—
宝満川	端間	小郡市端間	(7.93)	1	1	1	1	3	1	2	2	6
巨瀬川	中央橋	久留米市田主丸港	(9.98)	1	1	1	1	2	1	2	1	2
小石原川	栄田橋	大刀洗町栄田	(3.24)	1	1	1	1	3	1	2	2	4
佐田川	金丸橋	朝倉市金丸	(2.39)	1	1	—	1	3	2	1	1	1
花月川	花月	日田市丸山町	(3.38)	1	1	—	1	1	1	1	1	—
隈ノ上川	西隈ノ上	うきは市浮羽町西隈ノ上	(0.75)	1	1	—	1	2	1	1	1	1
小計				12	11	10	10	27	13	18	15	29
合計				43				73				29

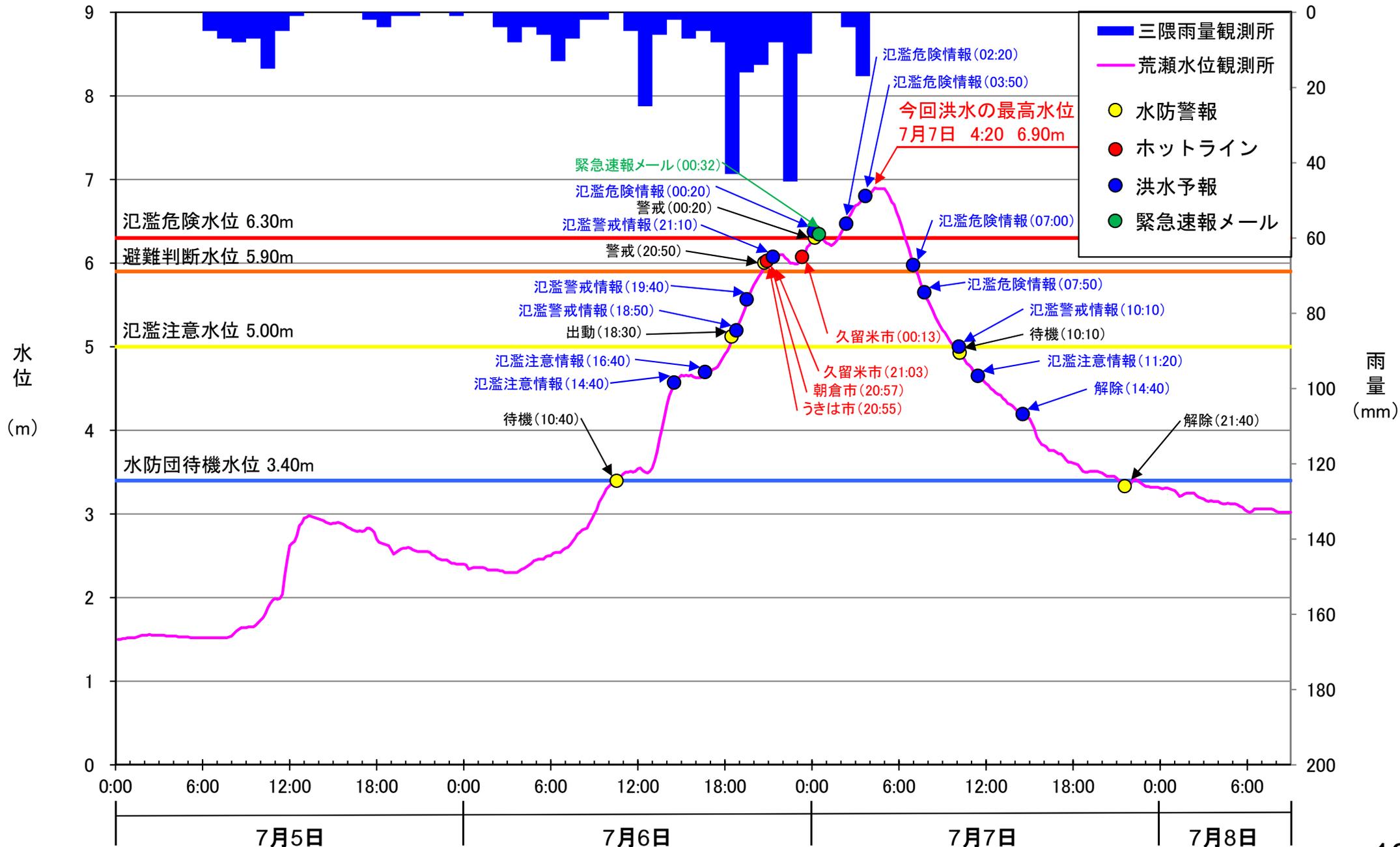
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況② 小湊水位観測所（筑後川）



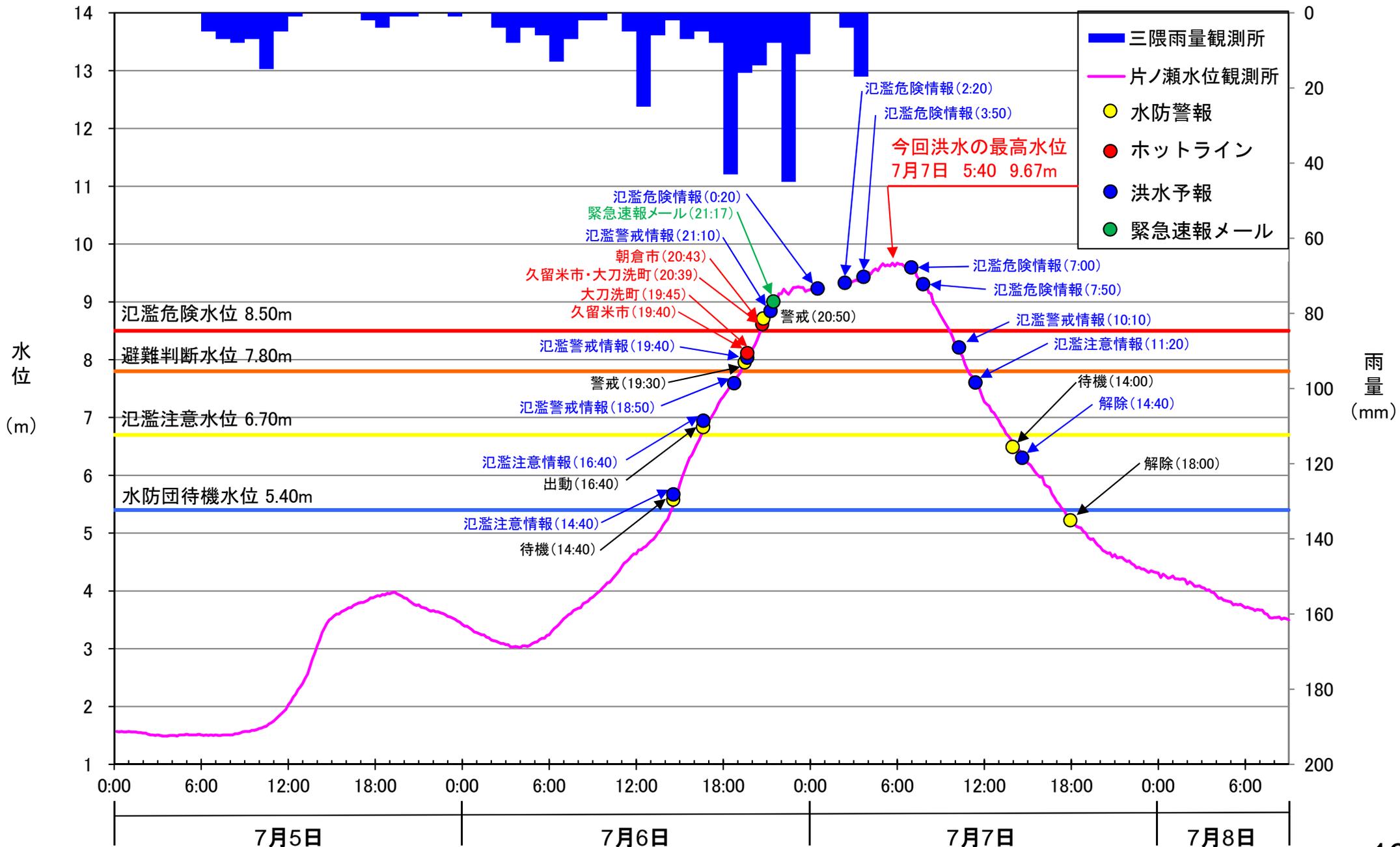
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況③ 荒瀬水位観測所（筑後川）



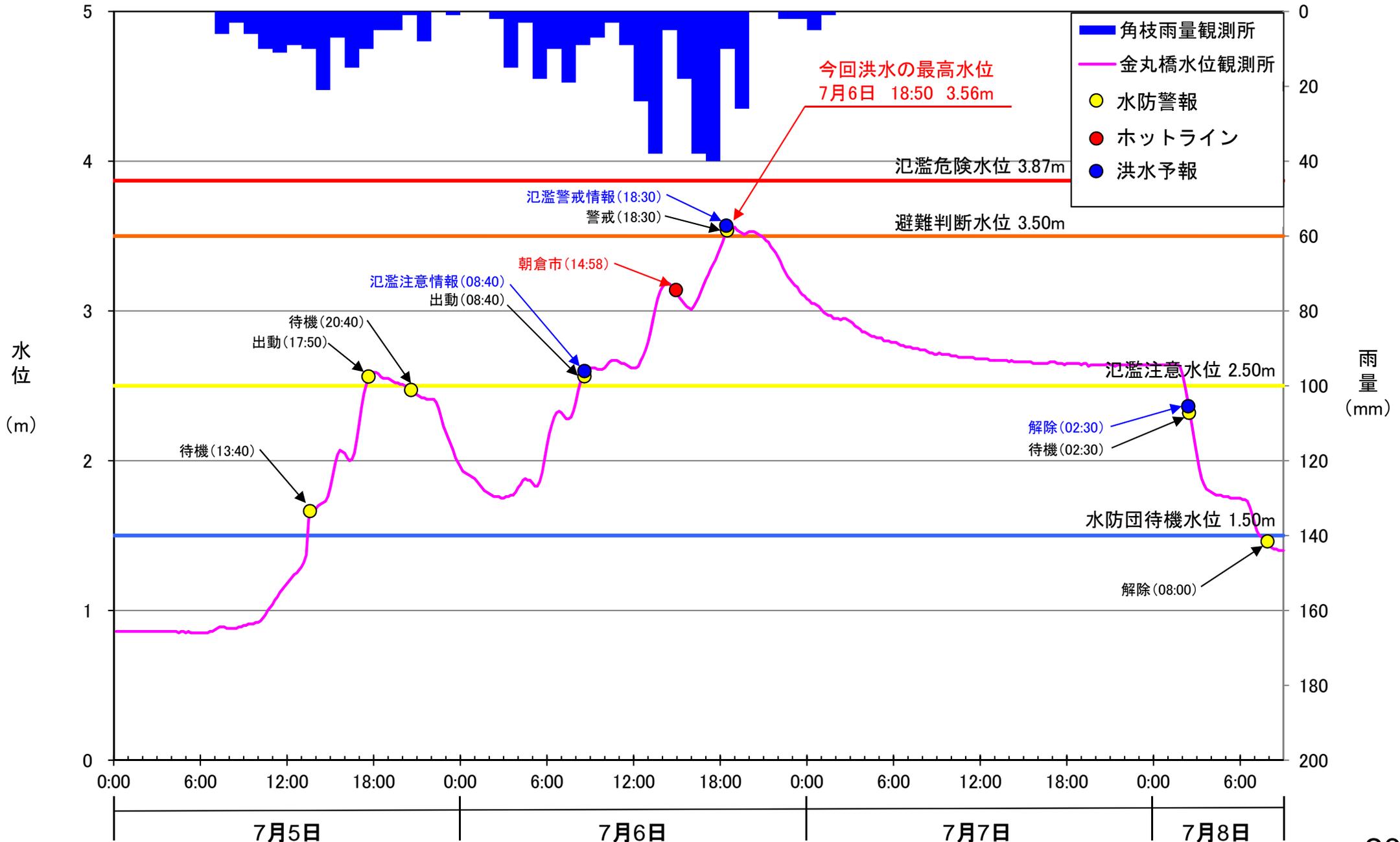
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況④ 片ノ瀬水位観測所（筑後川）



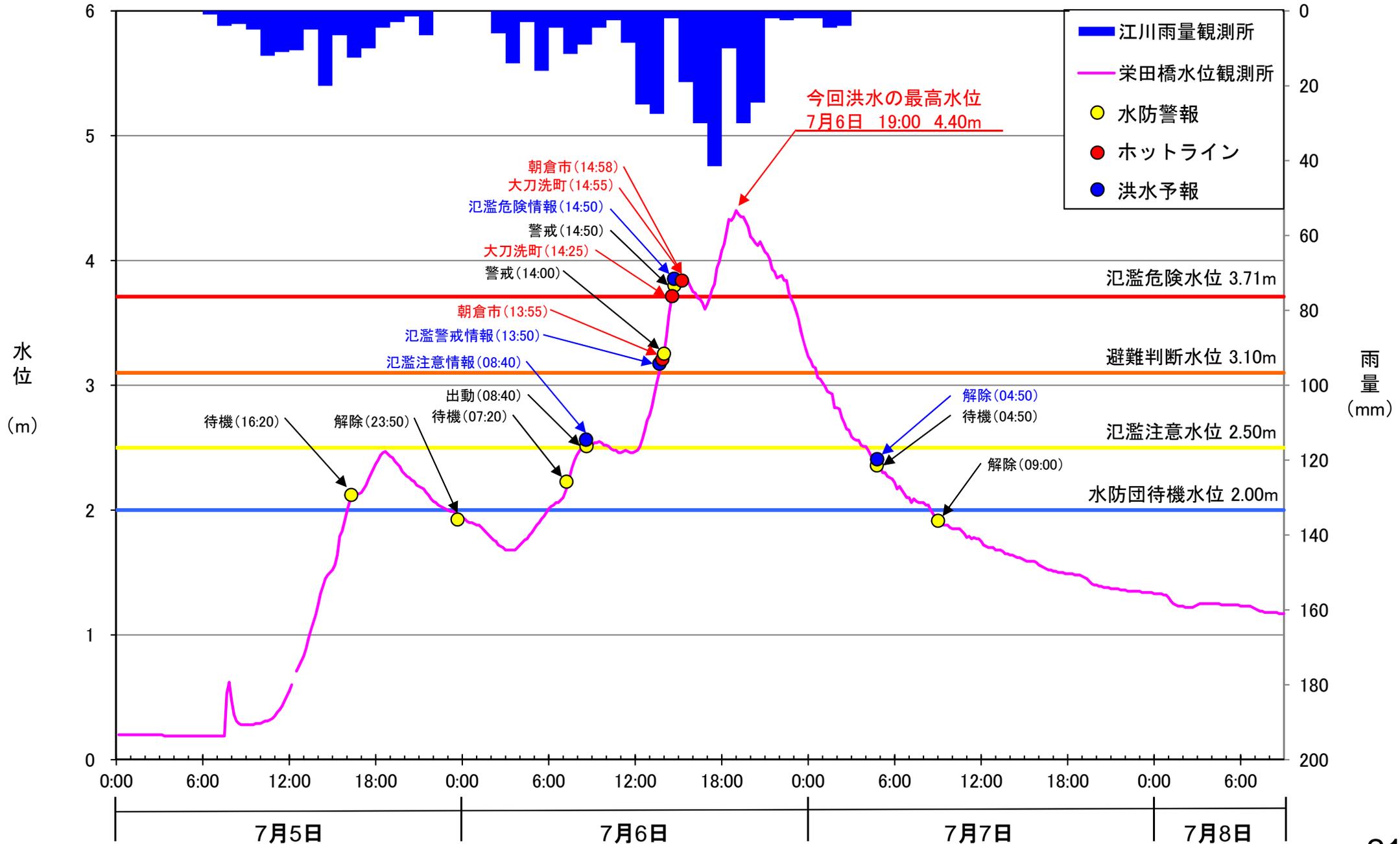
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況⑤ 金丸橋水位観測所（支川佐田川）



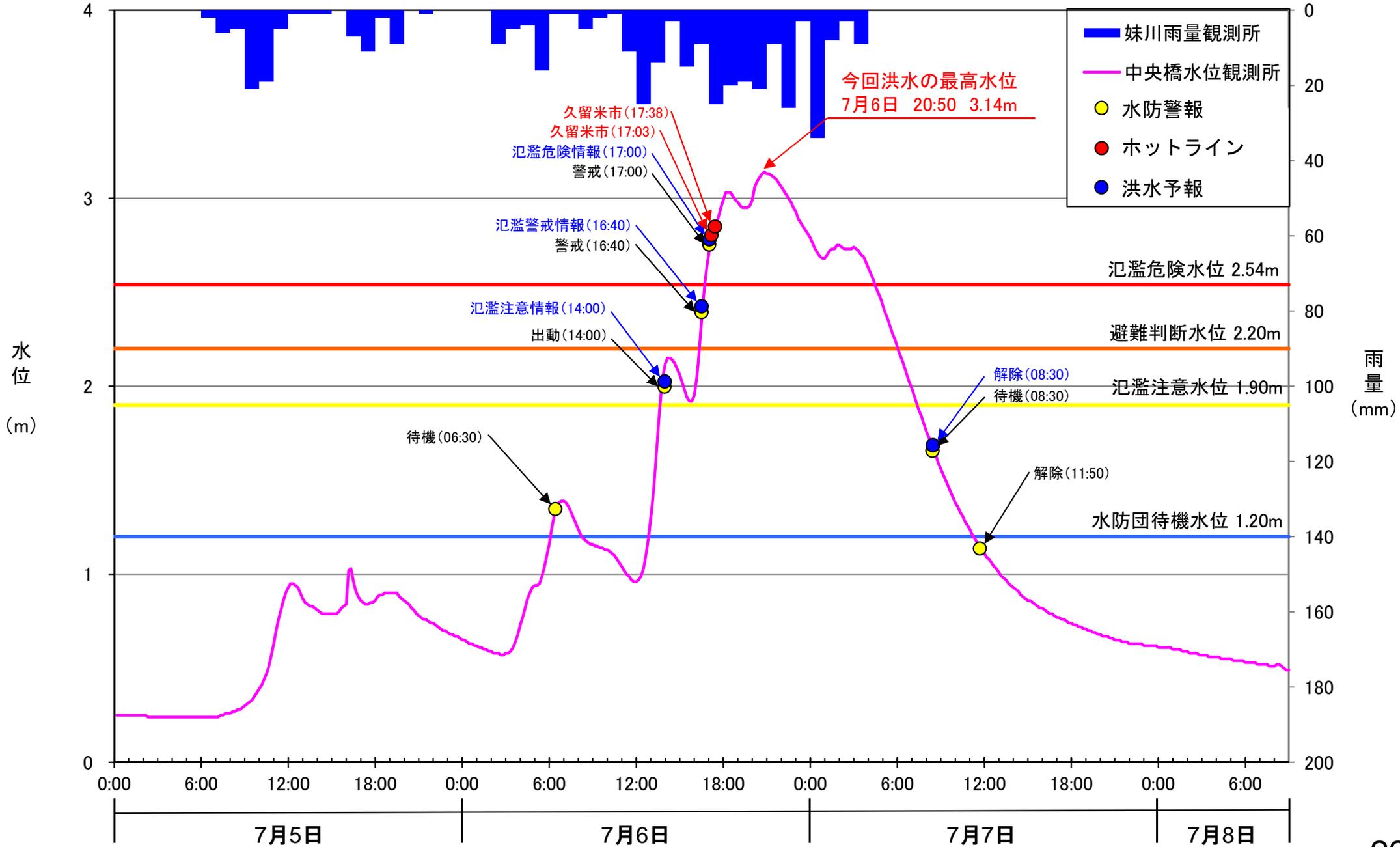
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況⑥ 栄田橋水位観測所（支川小石原川）



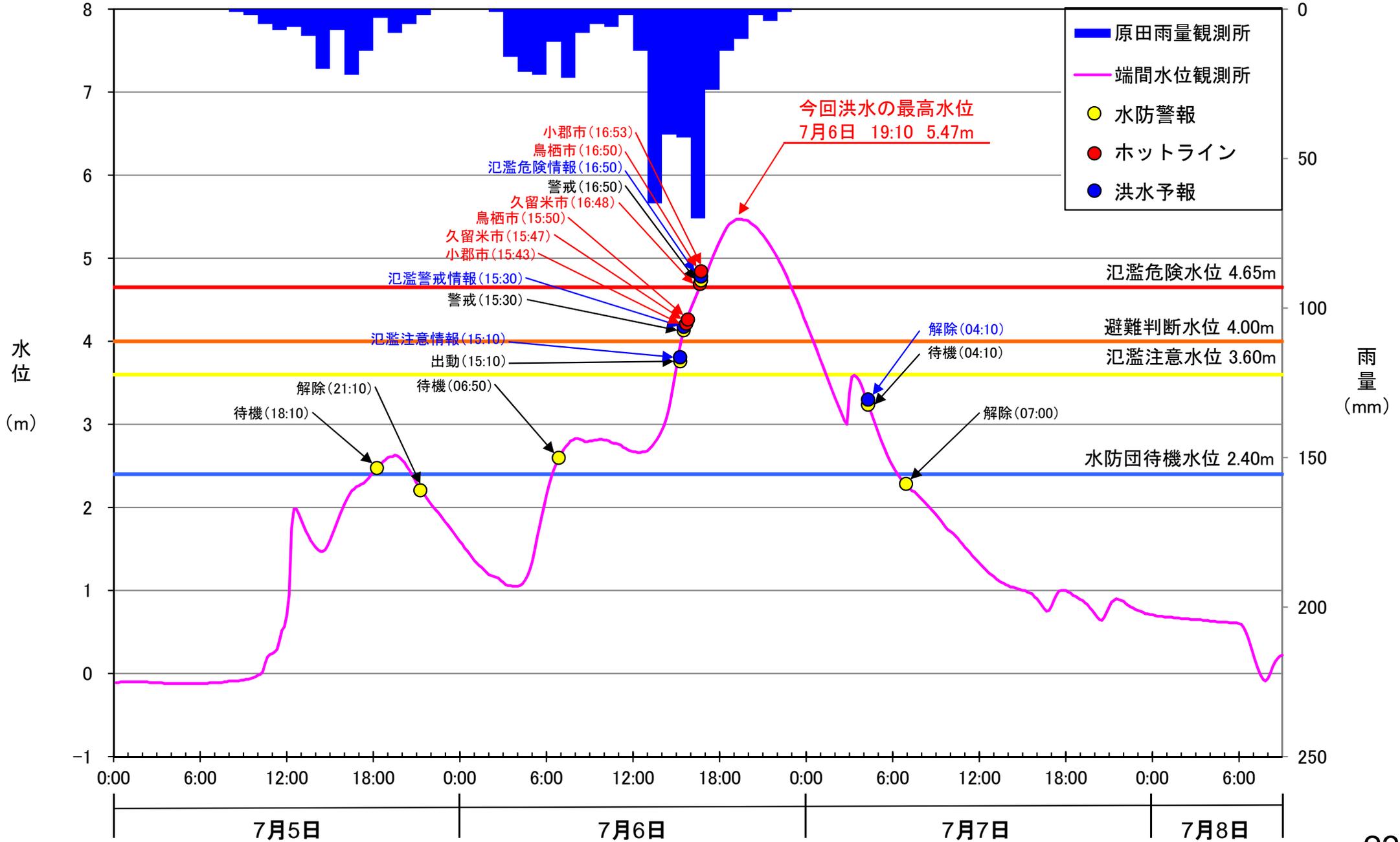
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況⑦ 中央橋水位観測所（支川巨瀬川）



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

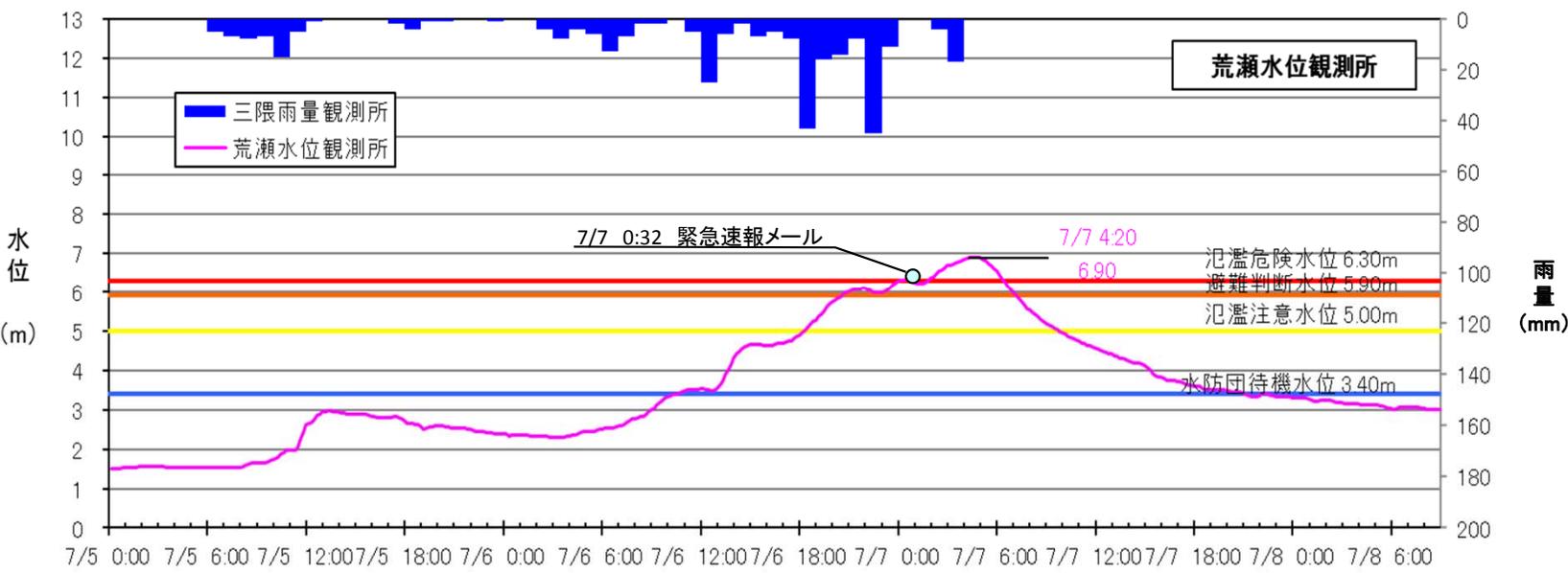
3. 防災情報の伝達に関する状況⑧ 端間水位観測所（支川宝満川）



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 防災情報の伝達に関する状況⑨（緊急速報メール）

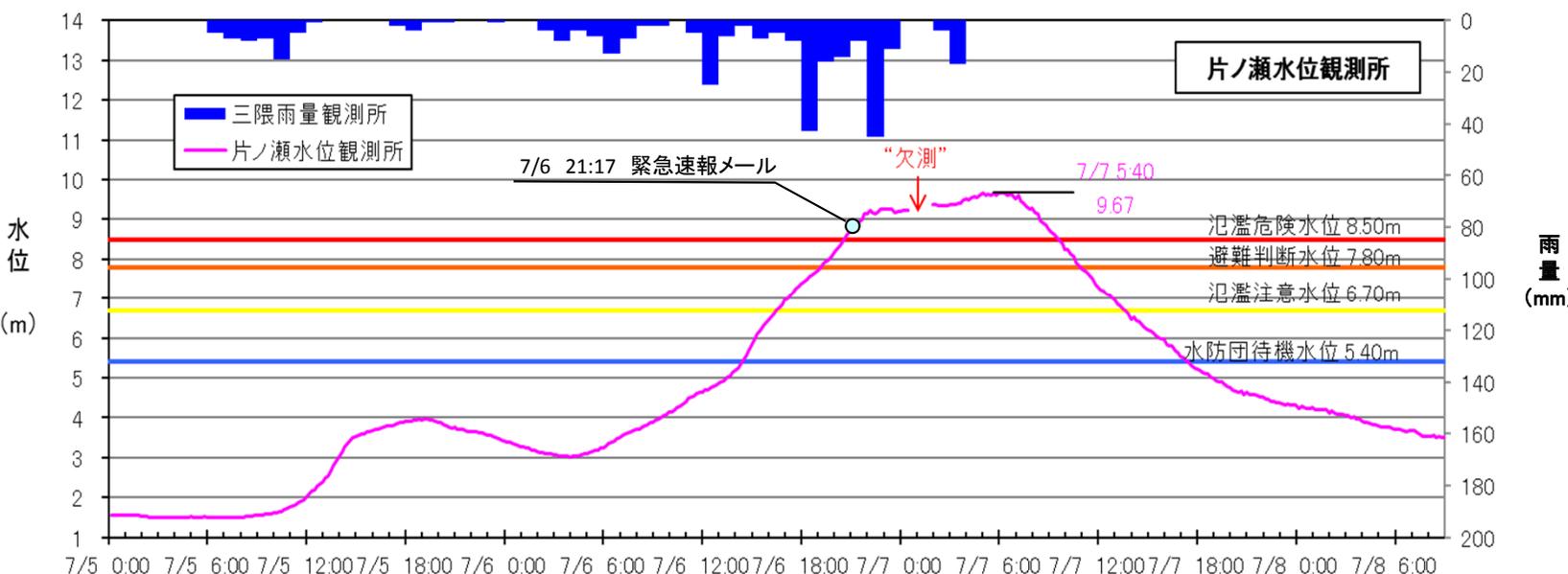
筑後川水系荒瀬、片ノ瀬水位観測所において、氾濫危険水位を超過したため、筑後川河川事務所においてはじめて緊急速報メールを配信しました。



受信メール
2018/07/07 0:32

河川氾濫のおそれ
筑後川の荒瀬（うきは市浮羽町）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、九州地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
（国土交通省）

（メール配信先）
久留米市、うきは市、朝倉市、大刀洗町



受信メール
2018/07/06 21:17

河川氾濫のおそれ
筑後川の片ノ瀬（久留米市田主丸町）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、九州地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
（国土交通省）

（メール配信先）
久留米市、小郡市、朝倉市、大刀洗町、鳥栖市

4. 出水状況写真①



片ノ瀬水位観測所の最高水位(9.67m)
福岡県久留米市田主丸町菅原地先
(平成30年7月7日 5時40分時点)



瀬ノ下水位観測所の最高水位(6.26m)
福岡県久留米市瀬ノ下地先
(平成30年7月7日 5時00分時点)

4. 出水状況写真②



端間水位観測所の最高水位(5.47m)
福岡県小郡市端間地先
(平成30年7月6日 19時10分時点)



中央橋水位観測所の最高水位(3.14m)
福岡県久留米市田主丸地先
(平成30年7月6日 20時50分時点)

5. 排水機場稼働状況①

筑後川に設置している排水機場20機場全てにおいて、排水運転を実施しました。
筑後川全体で約27,670千m³※、金丸川の古賀坂排水機場において、約3,000千m³の排水を実施しました。

※再確認により修正

平成30年7月豪雨 筑後川水系 排水機場運転状況

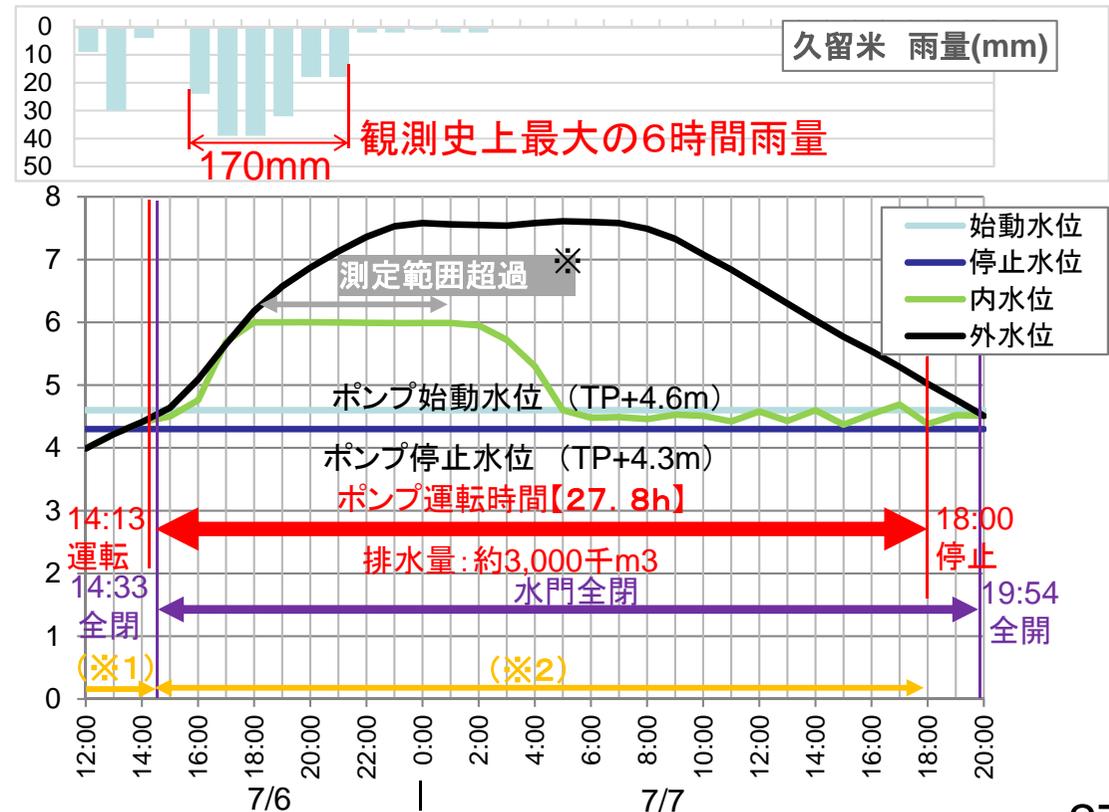
機場名	排水河川	河川名	左右岸	距離標	運転の有無
浮島排水機場	中津江川	筑後川	右岸	12/325	○
江見(下流)排水機場	切通川	筑後川	右岸	14/885	○
江見(上流)排水機場	切通川	筑後川	右岸	14/965	○
山ノ井(下流)排水機場	山ノ井川	筑後川	左岸	15/225	○
山ノ井(上流)排水機場	山ノ井川	筑後川	左岸	15/275	○
江見排水機場	切通川	筑後川	右岸	15/900	○
寒水川排水機場	開平江川	筑後川	右岸	16/665	○
古賀坂排水機場	金丸川	筑後川	左岸	23/385	○
古川排水機場	沼川	筑後川	右岸	25/030	○
枝光排水機場	下弓削川	筑後川	左岸	30/915	○
大刀洗排水機場	大刀洗川	筑後川	右岸	32/035	○
江川排水機場	江川	筑後川	左岸	33/215	○
陣屋川排水機場	陣屋川	筑後川	右岸	36/795	○
八幡排水機場	古川	筑後川	左岸	43/565	○
蒲田津排水機場	佐賀江川	佐賀江川	左岸	2/100	○
小森野排水機場	小森野川	宝満川	左岸	0/375	○
轟木排水機場	轟木川	宝満川	右岸	1/260	○
前川排水機場	前川	宝満川	右岸	1/420	○
思案橋排水機場	思案橋川	宝満川	左岸	2/925	○
蓮原排水機場	蓮原川	宝満川	右岸	4/080	○

＜水門・ポンプの運転＞

- ・ 順流の場合はゲートを開け、逆流してくればゲートを閉める。 ※1
- ・ 水門を閉めている間はポンプを稼働。 ※2
- ・ 水門を開けていても浸水被害軽減の効果があつた場合はポンプ稼働を続ける。 ※3

(筑後川水系金丸川)

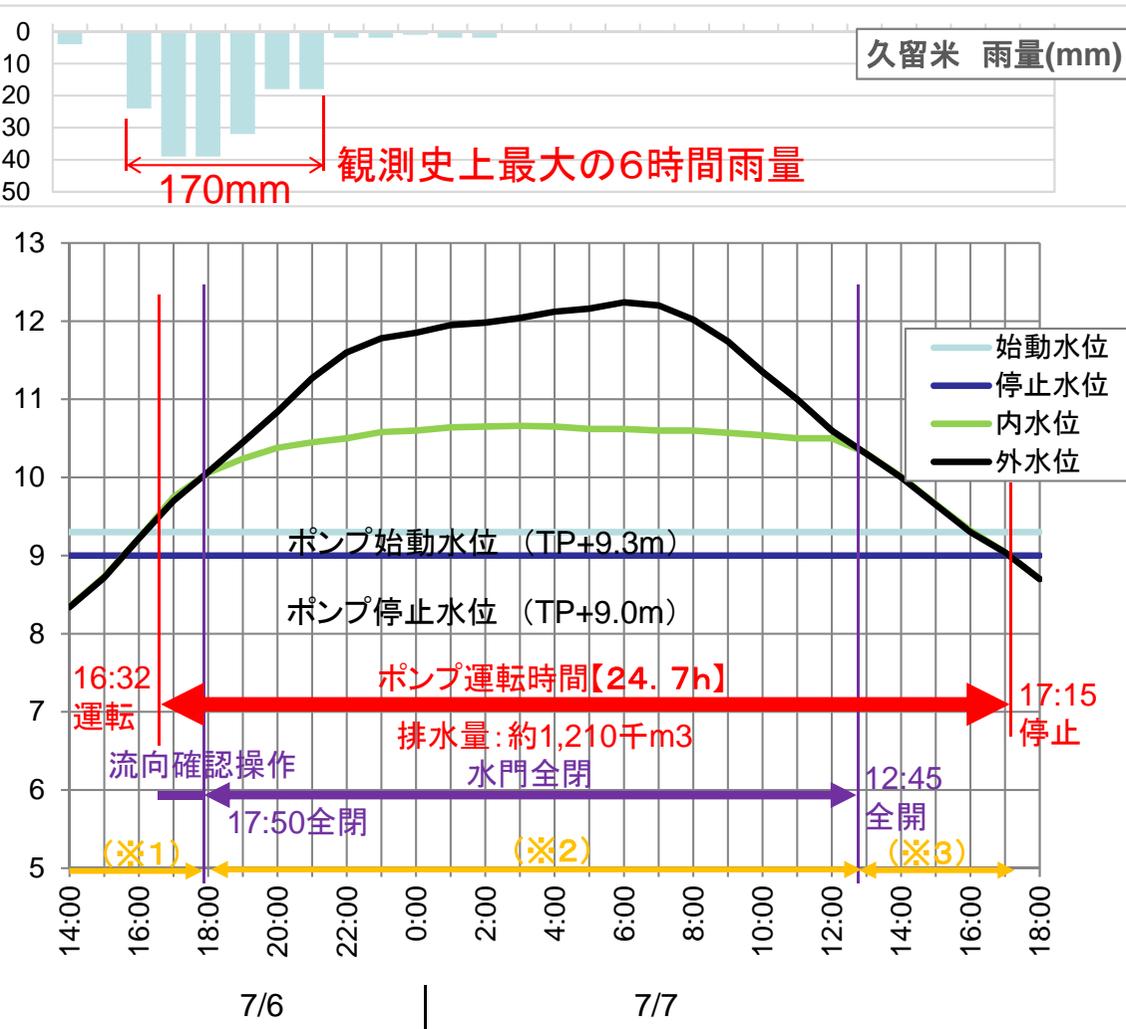
古賀坂排水機場 水位一運転状況



5. 排水機場稼働状況②

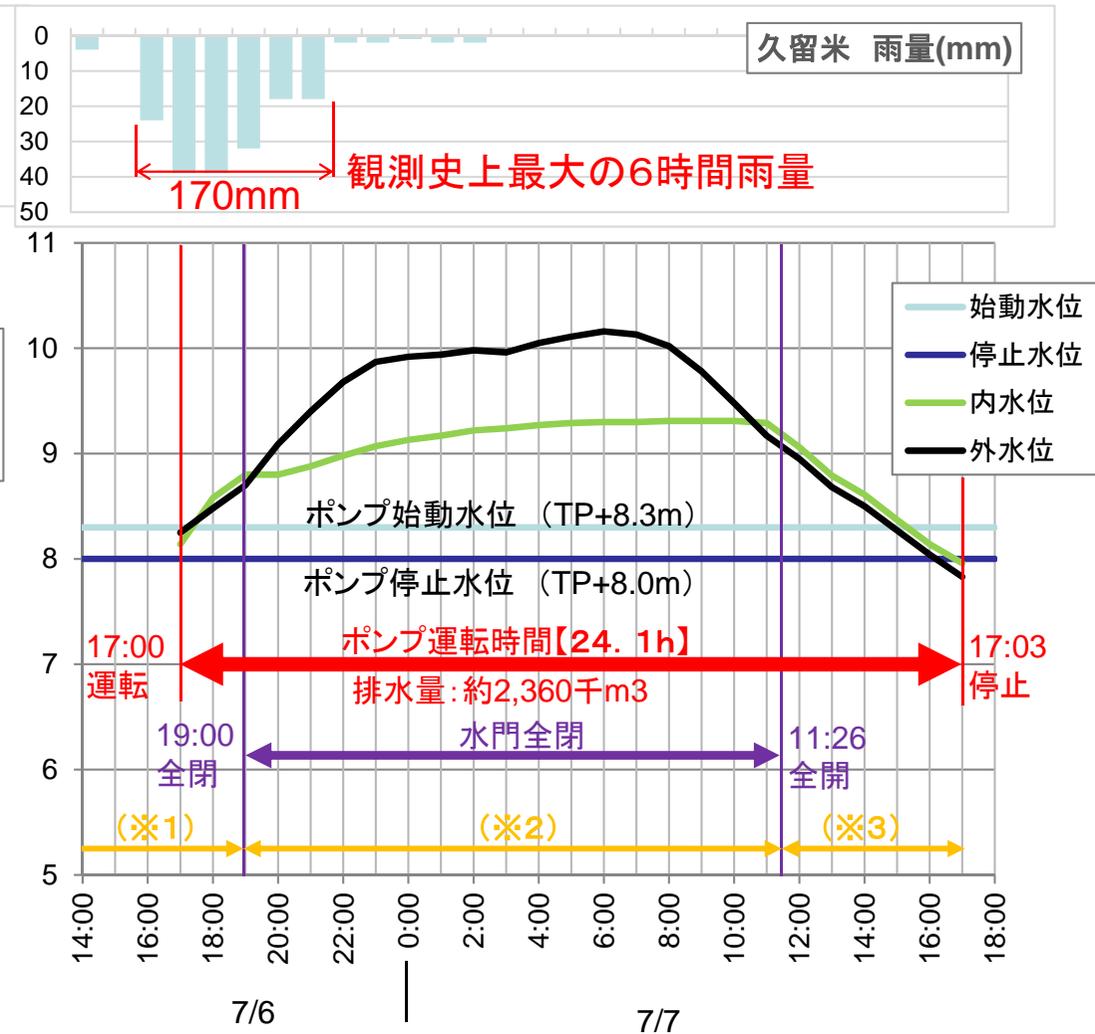
(筑後川水系陣屋川)

陣屋川排水機場 水位－運転状況



(筑後川水系大刀洗川)

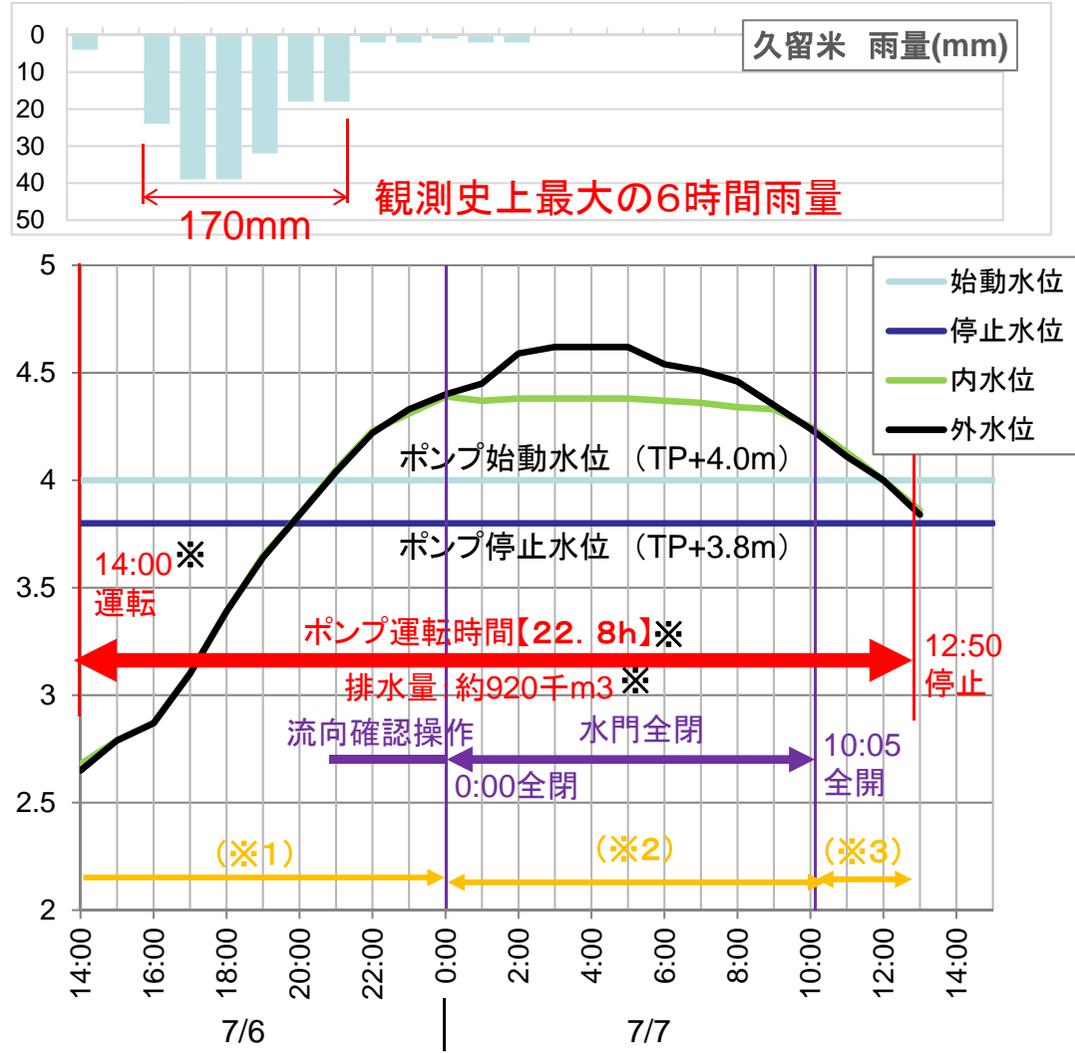
大刀洗排水機場 水位－運転状況



5. 排水機場稼働状況④

(筑後川水系山ノ井川)

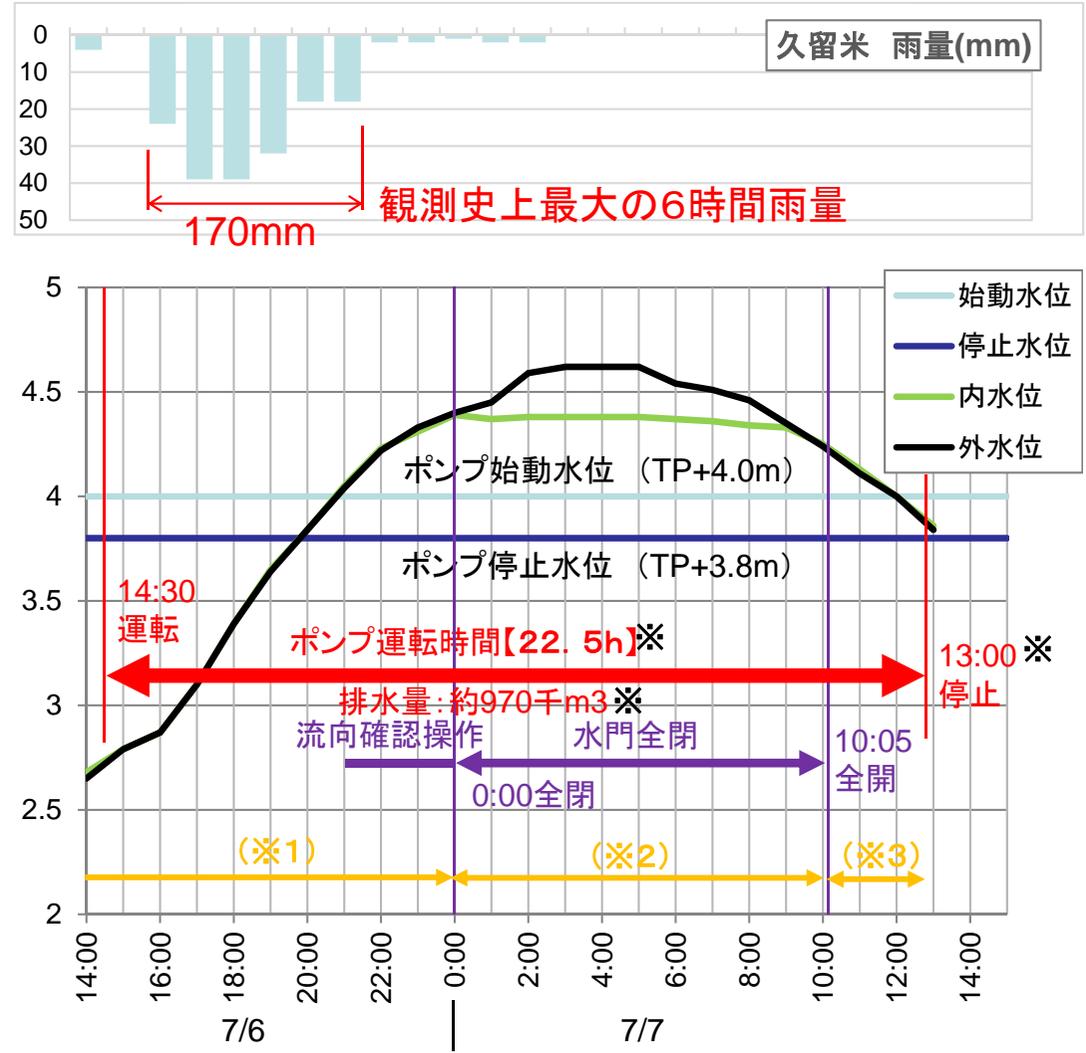
山ノ井(上流)排水機場 水位-運転状況



※再確認により修正

(筑後川水系山ノ井川)

山ノ井(下流)排水機場 水位-運転状況



※再確認により修正

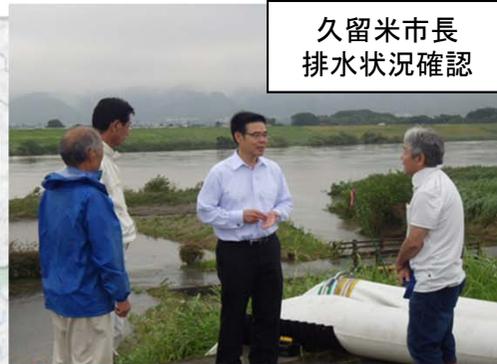
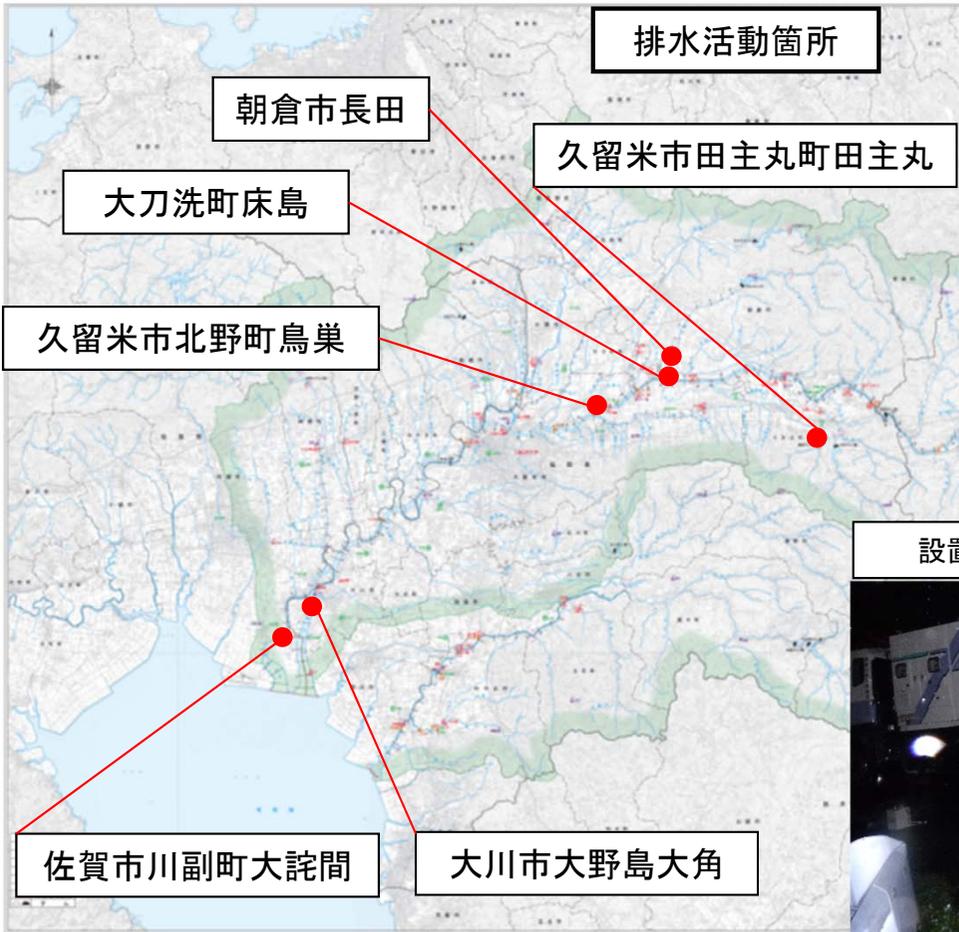
5. 排水機場稼働状況⑤ (排水ポンプ車活動)

次の地区に排水ポンプ車を設置し排水活動を行いました。

○筑後川	右岸	4k640	大川市大野島大角地区	(排水量 60m ³ /分)
○筑後川	右岸	35k580	久留米市北野町鳥巢地区	(排水量 60m ³ /分)
○早津江川	左岸	2k700	佐賀市川副町大詫間地区	(排水量 30m ³ /分)
○巨瀬川	左岸	9k400	久留米市田主丸町田主丸地区	(排水量 60m ³ /分)
○佐田川	左岸	0k380	大刀洗町床島地区	(排水量 30m ³ /分)
○佐田川	左岸	0k720	朝倉市長田地区	(排水量 30m ³ /分)



排水ポンプ車



久留米市長
排水状況確認



排水状況(久留米市北野町鳥巢)

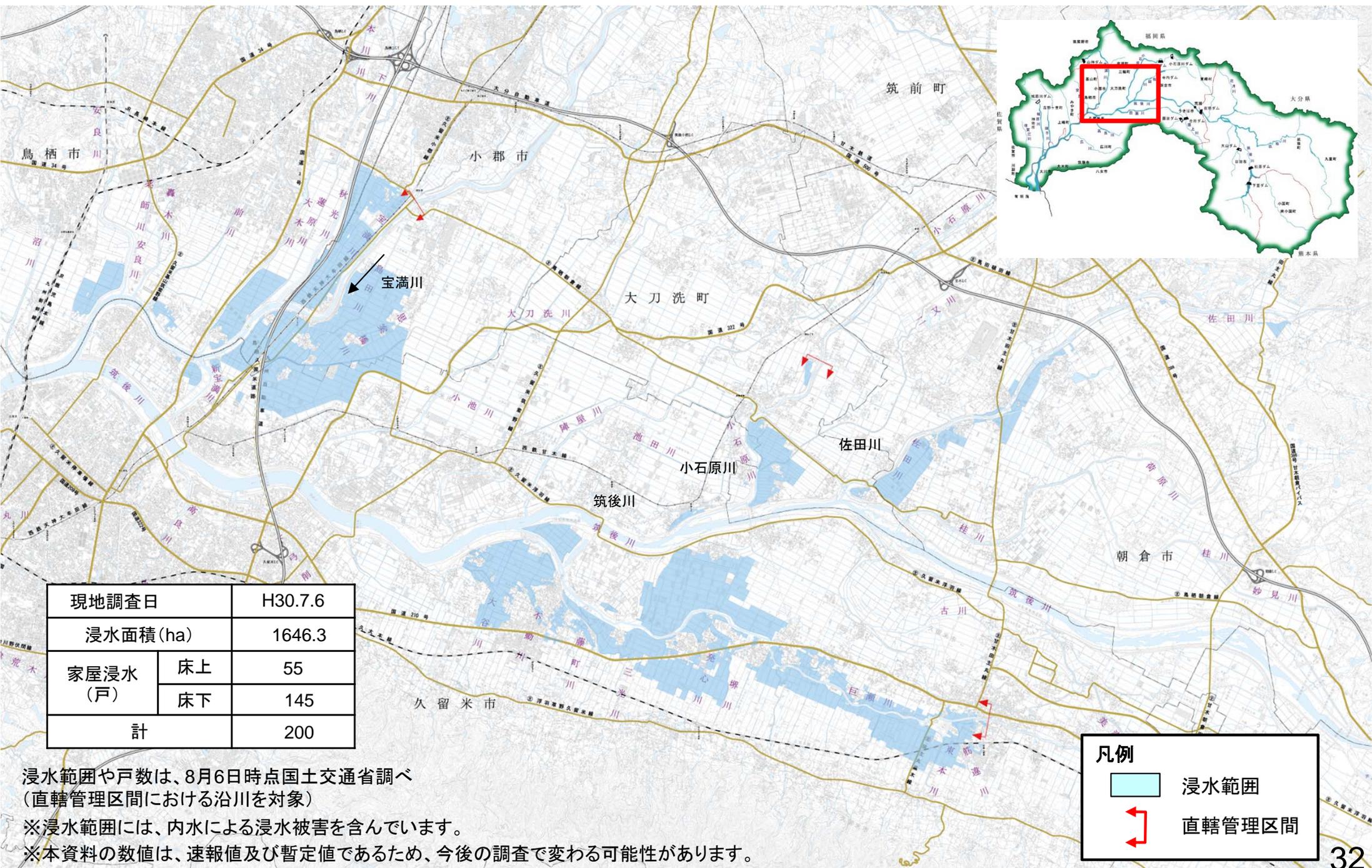


設置状況(久留米市田主丸町)



排水状況(大刀洗町床島)

6. 一般被害状況（支川宝満川、巨瀬川、小石原川、佐田川）



現地調査日	H30.7.6		
浸水面積 (ha)	1646.3		
家屋浸水 (戸)	床上	55	
	床下	145	
計	200		

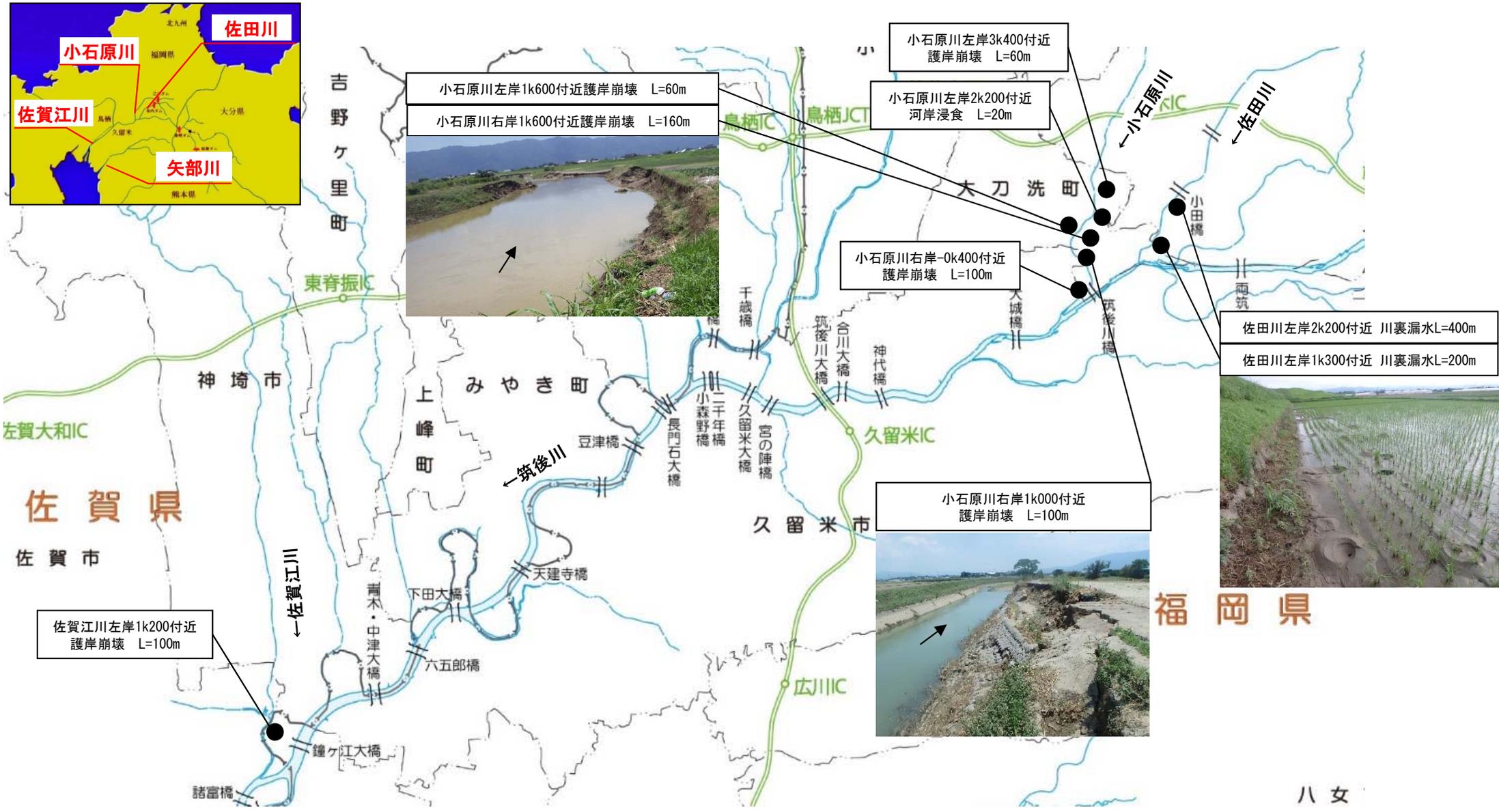
浸水範囲や戸数は、8月6日時点国土交通省調べ（直轄管理区間における沿川を対象）
 ※浸水範囲には、内水による浸水被害を含んでいます。
 ※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

凡例

- 浸水範囲
- 直轄管理区間

7. 筑後川河川事務所管内の管理施設に関する被災状況

筑後川水系で9箇所の管理施設が被災しました。（佐賀江川1箇所、小石原川6箇所、佐田川2箇所）



- (1) 本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。
- (2) 全箇所において応急復旧や立入禁止措置等の安全対策完了。
- (3) 上記のほか、矢部川水系において2箇所の被災が発生し、いずれも応急復旧や立入禁止措置等の安全対策を完了。

8. 赤谷川流域における土砂捕捉状況①（応急復旧）

昨年の九州北部豪雨災害により、赤谷川流域に多く残っている不安定土砂が今後の大雨で河道埋塞するのを防ぐため、土砂止め工、遊砂地を建設し、今出水で合計で約4万6千m³の土砂を捕捉しました。

● 1号土砂止工

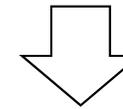
土砂捕捉量

約17,000m³を捕捉する効果を発揮

↓ 上空からの様子



1号土砂止め工



● 2号土砂止工

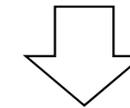
土砂捕捉量

約12,000m³を捕捉する効果を発揮

↓ 上空からの様子



2号土砂止め工



●乙石川遊砂地

土砂捕捉量

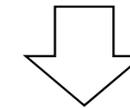
約14,000m³を捕捉する効果を発揮

↓ 上空からの様子

本出水後 (H30.7.7撮影)



完成時 (H30.3撮影)



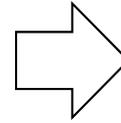
本出水後 (H30.7.7撮影)



●汐井谷川仮設堰堤



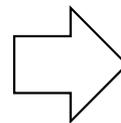
本出水後、約2,800m³を捕捉



●本村川土砂捕捉施設



本出水後、約500m³を捕捉



8. 赤谷川流域における土砂捕捉状況⑤（土砂止工等の効果）

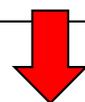
赤谷川流域に設置した土砂止工等により、約46,000m³の土砂を捕捉したことで、下流への土砂流出を抑制しました。なお、流木については確認されませんでした。

<仮に土砂止工等が無かった場合>

最下流の1号土砂止工より下流へ土砂が流出・堆積したと仮定すると、下流の東林田地区では応急復旧後の河床が**約1.5m上昇**して、越水する可能性もありました。

(イメージ)

越水していた可能性



土砂止工等の効果により越水を防止

(イメージ)



堆積土砂の除去状況

現在

次の出水に備え、空き容量を確保するために、各仮設土砂止め工に堆積した土砂を緊急的に除去しています。

